

医療法人腎愛会

平成 29 年度年報

平成 30 年 10 月

上山病院

うえやま腎クリニック

高齢者福祉複合施設「光陽」

上山病院



〒890-0073

鹿児島県鹿児島市宇宿 3 丁目 17-6

TEL 099-257-2277

FAX 099-252-0722

うえやま腎クリニック



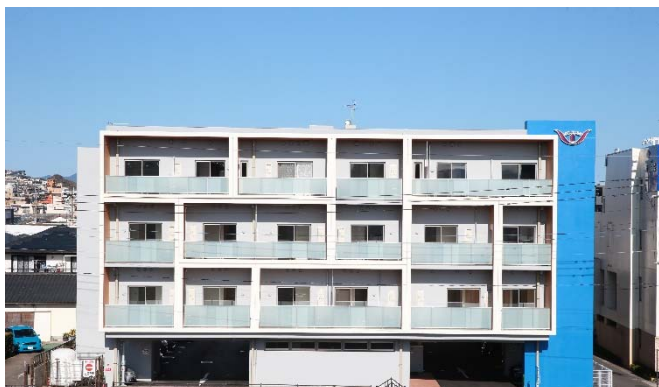
〒890-0073

鹿児島県鹿児島市宇宿 4 丁目 39-20

TEL 099-275-3211

FAX 099-275-3212

高齢者福祉複合施設「光陽」



〒890-0073

鹿児島市宇宿 3 丁目 22-10

TEL 099-257-5455

FAX 099-257-5445

法人本部



〒890-0073

鹿児島市宇宿 3 丁目 21-5

TEL 099-259-8811

FAX 099-259-8469



医療法人腎愛会 平成29年度版年報の発行にあたって

日頃より医療法人腎愛会の運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昭和56年1月、この宇宿の地に「上山内科クリニック」を開設してから、おかげさまで38年目を迎えました。ここまで来られましたのも、ひとえに患者の皆様及びご家族の皆様、地域の皆様、そして関係者の方々のお力添えのたまものと感謝いたしております。

平成29年1月に開設いたしました高齢者福祉複合施設「光陽」における介護事業については、サービス付き高齢者向け住宅、ケアプランセンター、訪問看護ステーション、デイサービスをおこなっております。入居者様、ご利用者様も増えつつありますが、様々な課題と向き合い、より良い介護をご提供できるよう、スタッフ一同、日々試行錯誤しながら取り組んでいる状況です。

平成29年6月より、うえやま腎クリニックに「ビューティーコアサポート外来」を開設いたしました。担当は平成30年6月にうえやま腎クリニック院長に就任いたしました上山菜穂医師です。

上山菜穂医師は形成外科を専門としております。形成外科は<人生の質を高める>ことを目的としており、それがビューティーコアサポートの考え方の基盤となっています。

「体の内側からきれいに」をコンセプトに、血液検査や毛髪ミネラル検査のデータに基づき必要な栄養素とその量を解析し、日頃の食事を見直し、必要があればサプリメントで栄養素を補うように、アドバイスを行う「分子栄養療法」と、最先端の機器にて「体の外側からもきれいに」という美容外来を組み合わせ、皆様の「本来の美しさ」をサポートさせていただいております。

平成30年4月の医療・介護報酬のダブル改定においては、透析医療に「質を求める」ための大きな変更がありました。「透析の質」に関しては、開業以来「常に最良であること」にこだわりをもって取り組んで参りましたので、マイナスの影響はありませんでしたが、期待された介護報酬が僅かなアップで抑えられたことは、今後の影響を注視せねばならない状況です。

平成30年度は、外科部長の岩下龍史医師にセンター長をお引き受けいただき、在宅透析センターを開設、これまでの腹膜透析(PD)に加え、在宅血液透析(HHD)も開始しました。また、リハビリテーション科により、訪問リハビリテーションもスタートするなど、新たな「在宅」への取り組みも始まっています。

これからも「地域のために貢献する」という強い気持ちを忘れず、腎臓・透析医療の専門機関としてのみならず、介護・在宅看護の機能を備えた「地域のかかりつけ医」として、また皆様の「健康で、美しく、元気でありたい」という真のQOL(quality of life)をサポートすべく、素晴らしいスタッフと共に邁進してまいります。

今後とも一層のご支援・ご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年9月

医療法人腎愛会 理事長 上山達典

ごあいさつ

今年も皆様のご指導、ご協力のお陰で1年間無事に務めることができました。心より感謝し御礼申し上げます。

現在、日本は国民皆保険や優れた保健・医療システムの成果により、世界最高水準の平均寿命を達成し、超高齢社会が到来しています。100歳以上の人口も6万人を超え、人生100年時代を見据えた社会の実現が求められています。平成30年度の改定は、6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定であり、団塊の世代がすべて75歳以上の高齢者となる2025年に向けた道筋を示す実質的に最後の同時改定です。医療・介護両制度にとって重要な節目であり、医療機能の分化・強化、連携や医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進めることが重要とのことです。そんな中、私たち腎愛会は2017年1月にサービス付き高齢者向け住宅を始めとする、高齢者福祉複合施設『光陽』を開設し運用を始めました。医療と介護のギャップ、連携の難しさを日々感じながら運用をしていますが、しっかりとした役割分担や切れ目のない連携を目指し、腎愛会だからこぞできることを考え、一步一步、前に進んでいけるようスタッフ一同取り組んでいます。また、形成外科専門医、分子栄養学専門医(指導医)である上山菜穂先生が鹿児島でも仕事をしてくださることになり、週に2日だけですが体の外からだけでなく、中からもきれいにしていけるように、心身ともに元気よく年齢を重ねていけるようにとの思いから、2017年6月からうえやま腎クリニックでビューティーコアサポート外来を開設いたしました。週2日という限られた時間ではありますが、病気になる前の段階で改善できること、改善しなくてはならないことをご指導いただき、見た目だけでなく体の中から元気よく過ごせる方が一人でも多く増えるようにと取り組んでいます。

腎愛会は今後、医療と介護、自費診療の3つを柱にし、当院にかかる患者の皆様はもちろん、地域の皆様のお役に立てるように、これまで取り組んできた組織づくりをもとに、スタッフ皆で一致団結し腎愛会の目標に向かって成長していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『日本で最高の病院にしていこう！』

- ①来られる患者さん、そのご家族が「素晴らしい治療をしてもらえて、本当によかった」と心から言っていただけの病院
- ②スタッフが「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院
- ③他の病院や医師から「あの病院は最高の医療を提供している」と認められる病院

上山病院 院長 寺口記代

ごあいさつ

私は大学生生活を福岡で過ごし、その後東京、静岡、福島、埼玉、福岡で医師として学びを深めてきました。いくつかの県で勤務することで、ヒトも医学も幅広く関わる事ができたように思います。一番思い出深いのは、やはり福島県でしょう。震災から1年後の福島県立医科大学附属病院に赴きました。誰も行きたがらない時期で、生活面においても慣れない事ばかりでした。2年間ずっと余震が続いており、“揺れない生活をした”と思うほどでした。稀にみる大雪に見舞われ、除雪車が不足し、病院に閉じ込められた日もありました。一部では復興バブルと湧いている場所もありましたが、全体としてなかなか問題解決が進まない状況を目の当たりにし、震災の大きさを感じていました。形成外科医としても多くの症例を経験させて頂き、顔面神経麻痺に対する加療は常に新たな挑戦がありました。再発を繰り返す脳腫瘍や食道再建で皮膚管移植後の感染等、再建手術を幾度となく繰り返す必要がある事もあります。またこれまでにない広範囲の膿皮症では、術後の開放創出血に対する止血に、非常に難渋しました。常に挑戦していく事の凄さと苦しさを経験しました。「我々に撤退はない」という教授のお言葉がよく耳に残っています。またターニングポイントになったのは、埼玉県立小児医療センターでの経験です。小児の疾患は先天性のものが殆どで、生活習慣病と異なり本人の努力で治せるものではありません。生きるために乳児期から複数回の手術が必要になることもありますし、生死に関わるような大きな問題にならなくても、見た目には違いを感じさせるものがあると、生き辛くなる事もあります。形成外科医として治療し完治出来る事もあります。改めて医療そして形成外科医としてのやり甲斐を実感すると共に、より研鑽を積んでいきたいと思うようになった頃、平成28年4月より上山病院で非常勤医師として勤務することになり、平成29年6月、ビューティーコアサポート外来を開設することが出来ました。これまで殆ど縁のなかった「透析治療」ではありますが、“より良く生きる事をサポートする”という点において形成外科も透析も通じるものがあり、これまでの経験を生かしていくことができるのではないかと思います。これからも日々研鑽し初心を忘れることなく、スタッフと協力しつつ患者の皆様、地域の皆様のお役に立てよう頑張っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

うえやま腎クリニック 院長 上山菜穂

《 目次 》

ごあいさつ

1	理念・基本方針	1
2	患者様の権利について	2
3	概要	3
4	沿革	6
5	各部門の紹介・実績報告	7
6	研究実績	32
7	院内研修開催実績	34
8	1年間の主な出来事	37
9	医療機器	38
10	病院組織図	39
11	委員会活動	40
12	統計	41
	(1)患者データ【上山病院】	
	(2)患者データ【うえやま腎クリニック】	
	(3)腎愛会平成29年度アンケート集計表	
	(4)送迎データ	
	(5)職員データ	

1 理念・基本方針

■理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

■基本方針

- 1) 質の高い医療を追及するために、たゆみなく研鑽します。
- 2) 医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
- 3) 温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

(平成 24 年 1 月 1 日改定)

■行動規範

四維（礼・義・廉・恥）

礼 礼を重んじ、感謝の気持ちを持ちます。

義 正しい道を求め、公共のために行動します。

廉 心を清らかに保ち、素直に接します。

恥 恥じることを知り、同じ過ちを繰り返さないよう創意します。

2 患者様の権利について

■患者の皆様のご権利と責務

I 患者の皆様には次のような権利があります。

- 1 等しく安全で良質な医療を受ける権利があります。
- 2 治療方針・治療効果・危険性などについて知ることができます。
- 3 治療方針について、別の医師の意見を希望することができます。
- 4 診療内容などの個人情報保護されます。
- 5 医療費の詳細について、説明を受けることができます。

II 患者の皆様には次のような責務があります。

- 1 最善の医療を受けるために、病状経過・過去の治療歴などについて情報提供をしていただく責任があります。
- 2 病を克服するために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。
- 3 円満な医療を受けるために、病院や社会生活上のルールやマナーを守る必要があります。
- 4 診療上必要な医療費を負担する必要があります。

■説明と同意

医学・医療は科学技術の発展に伴って急速に進歩し、診断・治療の中身が専門的になり、理解が難しくなっています。また、高齢者が多くなり、慢性疾患が増加し、疾病構造も大きく変わっています。

そこで、患者さんやご家族におかれましては、十分な説明を受け、よく理解してから、自分の人生観に従って、主体的に生きていこうとお考えになろうかと拝察いたします。

私ども医療従事者は、このような患者さんのよりよい支援者として努めてまいりますので、ご不審な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

そして、十分に理解し同意して、診療にご協力をお願いいたします。

3 概 要

【上山病院】

- 1) 名 称：医療法人 腎愛会 上山病院
- 2) 所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 17-6
- 3) 開設者：上山達典
- 4) 開設年月日：平成 21 年 7 月 1 日
- 5) 管理者：上山達典（※平成 30 年 4 月 1 日より寺口記代）
- 6) 診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、血管外科
- 7) 延床面積：3450.48 m²
- 8) 病床数：40 床（療養病床 40 床）
- 9) 施設基準等

①基本診療

療養病棟入院基本料 1、在宅復帰機能強化加算、療養病棟療養環境加算 1、入院時食事療養（Ⅰ）／生活療養（Ⅰ）

②特掲診療

薬剤管理指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料 1、透析液水質確保加算 2、感染防止対策加算 2、患者サポート体制充実加算、CT 撮影及び MRI 撮影、糖尿病合併症管理料、運動器リハビリテーション料Ⅲ、外来リハビリテーション診療料、下肢抹消動脈疾患指導管理加算

③医療機関の指定

保険医療機関指定

特定疾患治療研究事業委託医療機関

障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

労災二次健診指定医療機関

結核指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

原爆被爆者二世健康診断委託事業医療機関

特定健診医療機関

65 歳以上インフルエンザ予防接種

肝炎治療特別促進事業指定医療機関

日本透析医学会教育関連施設認定

鹿児島県女性にやさしい医療機関

65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関

【うえやま腎クリニック】

- 1) 名称：医療法人 腎愛会 うえやま腎クリニック
- 2) 所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿四丁目 39-20
- 3) 開設者：上山達典
- 4) 開設年月日：平成 18 年 5 月 20 日
- 5) 管理者：寺口記代（※平成 30 年 6 月 1 日より上山菜穂）
- 6) 診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科（平成 30 年 6 月より、形成外科を追加）
- 7) 延床面積：1609.54 m²
- 8) 施設基準等
 - ①特掲診療
 - 医療機器安全管理料 1、透析液水質確保加算 2
 - ②医療機関の指定
 - 保険医療機関指定
 - 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）
 - 生活保護法指定医療機関
 - 労災保険指定医療機関
 - 原爆被爆者一般疾病医療機関
 - 特定健診医療機関
 - 65 歳以上インフルエンザ予防接種
 - 65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種
 - 鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関

【高齢者福祉複合施設 光陽】

- 1) 名称：医療法人 腎愛会 高齢者福祉複合施設 光陽
- 2) 所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 22-10
- 3) 開設者：上山達典
- 4) 開設年月日：平成 29 年 1 月 17 日
- 5) 管理者：寺口記代
- 6) サービス内容：サービス付き高齢者向け住宅
訪問看護ステーション
ケアプランセンター
デイサービス
- 7) 延床面積：1902.44 m²
- 8) 施設概要

①サービス付き高齢者向け住宅

1 人部屋 (18.85 m ²)	3 部屋
1 人部屋 (26 m ²)	23 部屋
2 人部屋 (33.15 m ²)	2 部屋
2 人部屋 (44.85 m ²)	2 部屋

共同生活室・談話室

②デイサービス

デイサービスフロア

相談室

浴室

静養室 (2 床)

4 沿革

昭和56年 1月17日	上山内科クリニックを開設(職員数13名、許可病床数19床)
昭和60年 5月16日	有限会社ユーエスケイ企画設立(資本金300万円)
昭和60年 6月14日	看護婦寮(上山ハイツ)竣工
昭和62年 3月31日	上山内科クリニックを閉院
昭和62年4月 1日	上山病院を開設(職員数45名、許可病床数48床)
昭和62年10月1日	医療法人腎愛会設立(資本金8,600万円)
平成2年8月	Push/Pull-HDF(日機装社製)導入
平成4年4月1日	じんあいクリニック開設(外来透析専門施設、無床)
平成4年11月	Push/Pull-HDF(上山式)を開発し導入
平成6年10月3日	ユーエスケイ企画を有限会社から株式会社に改組(資本金1,000万円)
平成7年12月25日	上山病院の増改築を実施し、2床減床(職員数73名、許可病床46床)
平成9年4月1日	上山病院に泌尿器科を増科
平成11年12月30日	療養病床施設基準に対応するために上山病院を改築
平成15年 7月31日	ユーエスケイ企画本社ビル竣工
平成15年 9月1日	上山病院の病床を「その他一般病床」から「療養病床」へ転換
平成16年10月19日	ユーエスケイ企画本社ビル(現本部ビル)、第8回鹿児島市建築文化賞受賞
平成17年 9月30日	看護婦寮(上山ハイツ)売却
平成18年 5月30日	うえやま腎クリニック開設
平成18年 7月1日	ユーエスケイ企画宇宿事業所(現ユーエスケイ企画本社)開設
平成20年 3月31日	じんあいクリニック閉院
平成21年 7月1日	新上山病院へ移転(職員数124名、許可病床数40床)
平成21年10月1日	上山病院 循環器内科を増科
平成23年1月17日	開院記念30周年
平成24年1月 6日	病院機能評価(Ver.6.0)認定 ((財)日本医療機能評価機構)
平成24年2月7日	次世代育成支援対策推進法基準適合一般事業主認定(厚生労働大臣)
平成25年3月15日	日本透析医学会教育関連施設認定
平成25年11月7日	女性にやさしい医療機関指定病院
平成26年10月1日	オーダーリングシステム導入
平成27年4月4日	福利厚生施設 霧島山荘竣工(改築)
平成27年12月25日	上山病院 血管外科を増科
平成28年11月1日	高齢者福祉複合施設「光陽」ケアプランセンター 開設
平成29年1月11日	高齢者福祉複合施設「光陽」デイサービス 開始
平成29年1月17日	高齢者福祉複合施設「光陽」サービス付き高齢者向け住宅 入居開始
平成29年1月22日	高齢者福祉複合施設「光陽」訪問看護ステーション 開設
平成29年6月13日	うえやま腎クリニックにビューティーコアサポート外来を開設
平成30年6月1日	上山病院 在宅透析センター 設置
平成30年6月1日	うえやま腎クリニック 形成外科を増科
平成30年6月1日	上山病院 訪問リハビリテーション 開始

(1) 診療部

部門紹介

病院診療部は、常勤医師4名と非常勤医師8名の体制で診療にあたっております(30年3月現在)。うち1名は心臓血管外科が専門です。当院では外来透析、外来診療(一般外来・生活習慣病外来・禁煙外来など)、入院診療(入院透析含む)を行っております。外来患者様も増加傾向にあり、広くご利用いただける医療機関となっています。専門のみならずプライマリーケアにも積極的に取り組んでいることから、患者様が以前より多様になり、地域の皆様からかかりつけとして選ばれる機会も増えております。また、腎移植医療は、鹿児島大学病院と連携しております。

一般外来(患者延べ数 月平均640名)は慢性腎疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを中心に対応しており、必要時には専門診療科への紹介を行い、地域の皆様に広く受診して頂ける病院を目指しております。

平成29年度および平成30年度の取り組み

当院では、内科的管理と血管外科の医師による外科的管理が可能であり、透析シャント設置術や、バルーンカテーテルを用いた経皮的血管形成術(PTA)が行えることから、バスキュラーアクセス管理を自施設で完結できる環境が整っております。腹膜透析のカテーテル留置術と併せて、院内の手術件数も増加しており、平成29年度透析シャント関連術は、77件。PTAについては平成22年度には70件程度でしたが、平成27年度には200件を超え、平成29年度も191件実施と件数を重ねております。今後も引き続き、透析医療に貢献するべく技術を磨き続けたいと思います。また、平成30年度も血液透析、腹膜透析患者の導入から継続的管理に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

平成21年より取り組んでいる禁煙外来につきましては、これまでに46名の方が成功されました。今後も継続して取り組み、これまで以上に成功者を増やしていけるよう努力したいと思います。

患者様のより良い療養生活を維持するために、各種超音波診断装置やCAV I(動脈硬化指標の検査)など、非侵襲的な検査を積極的に行い、脳血管障害、心疾患、生活習慣病など、患者様の予後を悪化させる因子の早期発見に努めて参ります。

信頼され選ばれる病院を目指して ~患者様満足度向上の取り組み~

病院を受診される患者様は何らかの苦痛、不安を抱えておられる方がほとんどです。私たちは、患者様がご自分の症状や不安を医師やスタッフに相談しやすい環境づくりに努めております。患者様の目線で、患者様と一緒に病気と向かい合う姿勢を心がけております。また、総合内科窓口として、適切な専門病院へ橋渡しすることも重要な仕事です。近隣医療機関との連携をさらに密にしながら、患者さん本位の医療に取り組んでいきたいと考えております。

研究・自己啓発活動について

積極的に学会発表、論文作成を行い、それぞれの専門分野の学会、研究会にも可能な限り参加し、常に最新の知識を得るように心がけております。また、各種研究会の座長や、医薬品会社の社内講演会など地域の講演会や、介護系施設への腹膜透析に関する勉強会の講師も務め、腎臓医療・透析医療に関する普及啓発にも力を入れております。(詳細は、「6 研究実績」参照)

地域活動について

平成29年度は宇宿中地区お達者クラブへ職員を派遣させていただきました。平成30年度もお達者クラブや、その他地域の催し物に参加させていただきます。

(2) 地域連携室

部門紹介

社会福祉士 2 名体制で、入退院支援や外来通院患者様や外来透析患者様の在宅療養の支援をしております。週 1 回実施されている合同カンファレンスにて患者様の支援状況の報告や、効率的な支援についての検討を行っております。また、各部署の業務が円滑に行えるよう支援を行っております。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度は「介護支援連携指導」を 14 回実施致しました。また、当院は医療療養病床を有し、「在宅復帰機能強化加算」を届け出ていることから、平成 29 年度は、退院後の患者様のモニタリングを 146 件実施しております。

腎愛会では、患者様満足度調査を平成 23 年より実施しており、平成 29 年度も地域連携室にて退院患者様、外来透析患者様、うえやま腎クリニック外来透析患者様に対してアンケート調査を行いました。集計結果は当年報巻末に掲載しております。

腎愛会では平成 28 年度より、介護保険サービス事業を開始いたしました。腎愛会の地域連携室として、当法人の介護関連サービス部署ならびに、今日までお世話になっている他院や介護関連他事業所との連携を継続し、その関係性をさらに発展させるべく「地域包括ケアシステム」の考え方にも則した協働に取り組んで参ります。今一度医療ソーシャルワークを担う者として、他領域のソーシャルワークにどのように関わられるかも検討して参ります。

その他、私達の業務の取り扱い件数等を以下に記載いたします。

地域連携室書類下書き件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護保険主治医意見書	114	97	85	92	93	100	92
身体障害者意見書	10	34	23	28	27	33	32
リハビリ診療情報提供書	41	14	6	23	22	18	13
年金関係書類(意見書)	7	15	15	19	27	26	35
その他紹介状	9	22	10	19	7	2	1
居宅療養管理指導(診療情報)	5	0	0	0	0	5	3
計	186	182	139	181	176	184	176

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
介護支援連携指導	8	15	16	14
患者様モニタリング	32	52	72	132
計	40	67	88	146

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

平成 29 年度も患者様やご家族の皆様とお話し、様々な不安の解消やご要望に応えられるよう業務に取り組みました。また、入院された日から退院に向けての取り組みを行うことで、在宅復帰に対する患者様とご家族の皆様の不安解消に努めました。

研究・自己啓発活動について

平成 29 年度は地域包括支援センター主催の多職種連携会議や、地域包括ケアシステムに関する研修等に参加し、情報収集等を行いました。引き続き研修会や、自治体レベルの会議の傍聴などに参加する予定です。

地域活動について

宇宿中仲お達者クラブへの出前講座を 11 月に実施しました。

(3) 薬剤科

部門紹介

平成 29 年度は薬剤師 2 名と事務職員 1 名（総務課所属）の体制で業務を開始しました。11 月になり薬剤師が 1 名入職したため、事務職員が外れ、薬剤師 3 名体制で業務を行なうこととなりました。業務は処方監査、疑義照会、調剤、調剤監査、持参薬鑑別、服薬指導、薬品管理、DI 業務、配置薬管理、麻薬・向精神薬管理、治験薬管理などです。正確な調剤、わかり易い服薬指導、迅速な情報提供を基本として、患者さまから求められる薬剤師、職員の皆さまから頼りにされる薬剤師を目指して努力してきました。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

安全性、効率性、コストダウンを基本に業務改善に取り組みました。

安全性の観点より、医薬品情報ファイルと手術時休薬薬剤リストを作成し、情報の共有に努めました。調剤時は処方監査を徹底し、疑義があった場合は医師に照会し、安全で適正な調剤に取り組みました。持参薬鑑別では手術時休薬薬剤情報を記載するように様式を変更し、医師、看護師が必要とする情報の提供に努めました。

効率性の観点から、担当業務の見直しとタイムスケジュールの変更を行い、病棟に薬剤師が常駐する時間を増やし、薬剤管理指導件数の増加と指導内容の充実に努めました。薬剤管理指導は、アドヒアランスの低下している患者を中心に、それぞれの患者に合った説明・指導を心がけ、患者のアドヒアランス向上に努めました。平成 29 年度の薬剤管理指導件数は前年度の 37 件から 120 件に増加し、入院患者に対する実施割合は 18.5%となりました。1 包化の必要な患者が多く調剤に時間がかかることから、医師に早目のオーダーにご協力いただき、速やかな調剤を心がけました。

コストダウンの観点からは、購入医薬品の定数の見直しと仕入れ単位の小包装化を行ない、適正購入、適正在庫に努めました。平成 29 年度の医薬品購入金額は、前年度比 73.4%で、平成 29 年 3 月末の在庫金額は、前年度比 24.7%でした。3 月末現在の採用医薬品数は 487 品目（内服 269 品目、外用 65 品目、注射 152 品目）で、後発医薬品採用割合は 27.7%（135 品目/487 品目）でした。

平成 29 年度の処方箋枚数は、一般外来院内処方箋枚数 655 枚（前年度比 98.6%）、外来透析院内処方箋枚数 193 枚（前年度比 2.2%）、入院処方箋枚数 2,785 枚（前年度比 95.3%）でした。平成 28 年度末から外来透析患者の院外処方が開始となったため、院外処方箋発行率は 95.9%（15,259 枚/15,914 枚）となりました。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

どうすれば飲み忘れ、服薬間違いなどが起こらないかを念頭におき、患者の服薬状況を考慮にいった薬剤管理指導に努力しました。平成 30 年度は薬剤管理指導と病棟業務をさらに充実させ、患者の満足度を向上させたいと思います。

研究・自己啓発活動について

院内では医薬品説明会を 11 回実施しました。院外では、鹿児島県病院薬剤師会、鹿児島市薬剤師会、製薬会社が主催する講演会、講習会に積極的に参加し業務に役に立つ情報の収集に努めました。また日本腎臓病薬物療法学会、医薬品安全管理責任者講習会等に参加し、腎機能低下時における医薬品の適正使用や医薬品安全使用に関する情報の収集と知識の吸収に努めました。

地域活動について

腎臓いきいき教室では「腎機能を悪化させないための薬との付き合い方」、お達者クラブでは「薬の正しい飲み方と注意点について」と題して講話をおこないました。平成 30 年度も分かり易い講話を心がけ、患者様の服薬アドヒアランスの向上に取り組んでいきたいと考えています。

(4)検査科 臨床検査チーム

部門紹介

臨床検査チームでは、現在3名の技師で検査を行っています。業務内容は、生理検査では、頸部エコー、血管エコー、心エコー、腹部エコー、心電図、ABI検査を主に行い、臨床検査では、生化学検査、末梢血液一般検査、尿検査、血液型などを院内にて行っています。検査数は年々増加傾向にあり、検査が重なって大変な時間帯もありますが、迅速に正しい検査結果が得られる様にマニュアルを遵守し、時間に追われながらも患者様と接するときは、穏やかにゆとりを持って接するように心がけています。

平成29年度および平成30年度の取り組み

技師によって超音波検査の領域にばらつきがあるので、すべての技師が複数領域検査できるように取り組んでいます。また今年度は生化学の機械の更新を行いました。試薬メーカー等の見直しを行い、経費削減に努めます。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

生化学の機械を更新し処理能力が2倍になりました。
検査結果報告までの時間を20～30分とし、患者様をお待たせする時間の短縮に努めています。全てのエコーの実施時間も20～30分で検査が終了できるようにしています。まだまだ改善しなければいけないところもありますが、1分でも患者様の待ち時間を短縮し、且つ正確な検査結果が報告できるよう努力していきます。

研究・自己啓発活動について

検査技師会、超音波検査学会に入会し、検査技師会、超音波学会主催の学会や勉強会に積極的に参加し、スキルアップに努めています。また検査結果に関しては、日本臨床検査技師会の外部精度管理に参加し、精度を保っています。

地域活動について

『腎臓いきいき教室』では腎臓病の検査という題目で、検査について患者様に判りやすく説明しています。

(5) 検査科 放射線チーム

部門紹介

放射線チームは診療放射線技師 2 名体制で、上山病院外来・病棟、うえやま腎クリニック患者様の一般撮影（胸部・腹部等）、CT 検査、PTA の手術等の撮影、エコー検査等を行っています。

上山病院には一般撮影装置・透視台・CT 装置・外科用 C アーム、CR 装置が、うえやま腎クリニックには一般撮影装置・透視台、CR 装置、画像保存用サーバ（PACS）が設置されています。

2 名体制の為、検査の内容や検査日によっては患者様にお待ち頂く事もありますが、外来、臨床検査チーム、医事課などと連携をとり、患者様の待ち時間をできるだけ短縮できる体制と、患者様が安心して検査を受けていただける環境づくりを目指しています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度の撮影件数は、別紙の通りです。

平成 27 年度と比較し、透析患者様、一般外来患者様の増加により一般撮影や CT 撮影の件数も増加してきました。

エコーについては腹部エコーだけでなく、頸部エコーやシャントエコーも対応可能となり、検査の幅が広がりました。今後も適切な報告ができるよう技術・知識の習得を目指していきます。平成 30 年度は心エコーに対応できるスタッフの育成に取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

マルチスライス CT や外科用 C アーム導入から 4 年経過しました。マルチスライス CT を導入したことで、検査に要する時間を大幅に短縮することができるようになり、装置を更新したことで造影 CT を 20～30 分程で終了できるようになりました。単純 CT 撮影も以前と比べ検査時間が短縮されました。

C アームを導入し、PTA だけではなく CAPD カテーテル留置の術中対応や内頸カテーテル留置等対応する検査の幅が増えました。対応する検査数が増加することで被曝も増加します。今後は患者様、スタッフの被曝低減も考えて対応していきたいと思えます。

検査で待ち時間が発生する場合は、医事課（受付）などと連携を図り、患者様に声掛けをしながら、なるべく待ち時間を短縮できるよう心がけています。

研究・自己啓発活動について

放射線技師会や放射線技術学会等に入会し、積極的に研修や学会に参加しスキルアップに努めています。その他研修会にも参加し、撮影技術以外の知識向上に努めています。

地域活動について

平成 29 年度は健康祭り等がなく、交流を図る事はできませんでした。今後イベント等開催される時には積極的に参加していきます。

(6) 臨床工学科

部門紹介

臨床工学科は、上山病院に臨床工学技士 6 名・准看護師 1 名・助手 1 名、うえやま腎クリニックに臨床工学技士 2 名・の計 10 名で構成されています。

透析監視装置は、上山病院に 92 台（HD 装置 42 台、HDF 装置 50 台）、うえやま腎クリニックに 40 台（HD 装置 20 台、HDF 装置 20）配置しています。

医療機器のメンテナンスを充実させ、安全で効率的な運用ができる環境作りを目指すと共に、患者様に安心して満足した透析を受けていただけるよう、他職種と連携し技術向上に努めています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

〈平成 29 年度〉

- ・透析関連装置導入と透析装置保守管理及び水質管理の充実

3 階機械室への RO 装置、透析液供給装置、透析液溶解装置の新規導入と腎愛会の透析装置保守管理及び水質管理を充実させることにより安全な透析療法を患者様へ提供することができました。

※水質管理データ（生菌検査データ）別紙参照

〈平成 30 年度〉

- ・患者様個々に合った血液浄化療法が提供できるように取り組んでいきます。
- ・個人用透析装置を導入し、緊急透析に対応できる体制を整えていきます。
- ・他部署への協力体制を整え連携を密にし、職員組織力の向上に努めていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安全で質の高い血液浄化療法を患者様へ提供できるように、平成 30 年度の部署目標を立てました。

1. 質の高い透析医療を提供できるよう医療機器の整備を行い、患者様とご家族のライフスタイルに寄り添える透析プランを提供します。
2. 在宅透析の患者様を医療、機器整備、環境整備の面から支援できる体制を様々な部署と協働して構築します。
3. 「強く、優しく、たくましく」を合言葉に、臨床工学科の職場環境を整えつつ、様々な部署の支援体制を整えられるよう努めます。

研究・自己啓発活動について

平成 29 年 6 月 第 62 回日本透析医学会で『ヘモダイアフィルタ NVF の臨床評価』を発表しました。

平成 30 年 6 月 第 63 回日本透析医学会で『ATA 膜と PS 系ヘモダイアフィルタの比較』を発表予定です。

地域活動について

今年度は活動に参加できませんでした。来年度は参加していきたいと思っております。

(7) 栄養科

部門紹介

栄養科は、管理栄養士 2 名、給食業務委託先の栄養士 1 名および調理員 3 名で構成されています。業務内容は、患者様一人ひとりに合った食品構成の作成、献立作成とその展開、栄養管理、栄養指導・栄養相談、食材の発注・検品などです。治療効果が上がり、なおかつ入院生活の中の楽しみの一つだと思っていただけるような季節感のある食事の提供を心掛けています。また、食事摂取量の少ない方や栄養状態の低下がみられる方には、主に病棟看護師と連携を取り、食事の内容や形態を工夫することで食事摂取量や栄養状態の改善に繋がるよう努めています。栄養指導・栄養相談では、主に腎臓病や透析の食事療法について、患者様の立場になってその方が実践できる内容をわかりやすく伝えることを心掛けてお話ししています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度は、当院退院後、病院とクリニックで外来透析される患者様へ透析中に声かけをし、食事困っていることや気になること等を聞き、退院後のフォローを行いました。平成 30 年度は、入院患者様全員のご家族を対象に当院の食事を試食していただきながら行う栄養指導の取り組みである「じんあいキッチン」を、外来患者様にも実施していきたいと考えています。より多くの方が食事療法に対する理解を深めモチベーション向上に繋がるようサポートしていきたいと思っております。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

喫食・嗜好調査を年 4 回、入院患者様を対象に行っています。調査をすることで患者様の嗜好の傾向を把握し、その結果や食事へのご意見などを献立に反映させられるように努めています。また、食事の個別対応も行っており、可能な限り患者様のご要望にお応えしています。

患者様のなかには食事療法に対して不安を持っている方も少なくないので、栄養指導等ではしっかりと話を聞き、適切なアドバイスができるように努めています。

研究・自己啓発活動について

日本栄養士会に入会し、食・栄養に関する研修会や学会に積極的に参加しています。得た知識や情報を業務に活かせるよう自己研鑽に励んでいます

地域活動について

腎臓いきいき教室を年 6 回開催しています。教室は多職種で構成されており、栄養科は食事療法についてお話ししています。腎臓病食の試食も行っており、味付けや調理方法などを体験していただいています。

(8)リハビリテーション科

部門紹介

リハビリテーション科は平成 27 年 5 月に開設され、理学療法士 1 名体制で運動器リハビリテーションに取り組んでいます。

隣接する高齢者福祉複合施設光陽には、デイサービス担当として作業療法士 1 名が常駐しており、介護分野に関しての強化も進めています。

平成 30 年度は訪問リハビリテーション開設予定であり、在宅復帰後のサポートに努めて参ります。

平成 29 年度の取り組み

実践内容

- ① 個別リハビリテーション
- ② 退院前訪問
- ③ 退院時リハビリテーション指導表作成・指導実施
- ④ 目標設定管理シート作成・指導実施
- ⑤ 理学療法士不在時(日曜日等)の練習メニュー作成

【平成 29 年度 リハビリテーション介入件数】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
179	181	217	271	213	166	147	196	212	223	194	136

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安心した在宅生活が送れるよう、当院独自の取り組みである生活環境チェックシートにて在宅状況を確認し、退院後の生活を意識したリハビリテーションに取り組んでいます。

退院後、自宅での生活が不安な方に関しては、入院中にご自宅を訪問し、手すり設置位置のアドバイス等も実施しており、患者様とともに退院に向けリハビリテーションに日々取り組んでいます。

研究・自己啓発活動について

九州理学療法士・作業療法士合同学会参加（平成 29 年 11 月 11・12 日：シーガイア コンベンションセンター）

第 8 回日本腎臓リハビリテーション学会発表（平成 30 年 3 月 17・18 日：仙台国際センター）

演題名：当院におけるベルト電極式骨格筋電気刺激法導入に向けての取り組み

理学療法士協会主催、鹿児島県・市の医師会主催、実践フットケア研究会主催等、様々な分野の研修会に参加(院外研修会参加：計 10 回)し、多くの患者様に対応できるよう自己研鑽に励んでいます。

地域活動について

患者様が住み慣れた場所へ不安なく退院できるよう、入院中に患者様宅に伺い、手すり設置位置のアドバイス等を行う退院前訪問も実施しております(諸条件はあり)。

住み慣れた場所で安心した生活が送れるよう、少しでもお手伝いしていけたらと考えております。

(9) 看護部

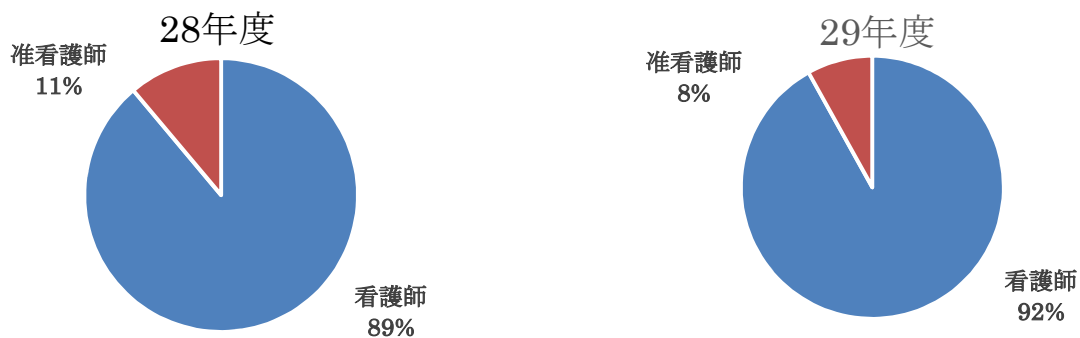
部門紹介

【概要】

腎愛会看護部は、上山病院の病棟、透析室、外来・手術室の3単位とうえやま腎クリニックの1単位、訪問看護ステーション光陽が加わり、5単位合同で連携を取り看護活動を展開しています。また、今年度6月に開設された、うえやま腎クリニックのビューティーコアサポート外来（BCS 外来）においても、施術や点滴等の役割を担い、活動の幅を拡大してきました。

また、今年度も主体的に自己育成できる看護師の育成を目指しました。看護協会への研修参加は勿論、フットケア指導士の資格取得、各種学会参加など、それぞれに目標を立て取り組みを行ってきました。在職中の准看護師は、2名が無事看護学校を卒業し、国家試験にも合格しました。現在は、2年に2名、1年に2名、計4名が、学校に仕事にと奮闘しています。看護職全体で応援しています。

<看護師と准看護師の割合>



平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

昨年、組織の改革と次世代の役職育成を目指し、副主任と副師長の職位を設けました。病棟副師長が、認定看護管理者教育課程 ファーストレベルの認定を取得するなど、それぞれが高い意識の中で、役割を全うするための努力をしています。更に、今年4月には透析室室長の職階も加わり、2階・3階透析室の臨床工学科・看護部の役職者が話し合いを重ね、業務改善に取り組んでいます。役職者の連携が密になるとともに、スタッフの様々な意見が聞かれ、風通しが良くなったように感じます。また、在宅血液透析の確立に向け、医師、看護師、臨床工学科、医事課、ユーエスケイ企画と共に、取り組みを行いました。現在1名が、自宅で血液透析を行っており、順調に経過しています。昨年開設された訪問看護ステーションの利用者も、徐々に増加傾向にあります。地域住民や当院を必要とされる方々が、自分らしい人生を全うできるよう、できる限りのサポートをさせていただきたいと考えています。

看護部の長年の課題であった看護師の定着に関しては、子育て支援の見直しやワークライフバランスへの取り組みで、29年度の離職率が8.9%と全国平均を下回ることができました。

今後も“働きやすい職場環境”を念頭に努力していきます。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

“自身の看護観を持ち、自己成長できる看護師”を目指し、独自のクリニカルラダーで人材育成に取り組んできました。前年度の看護部主任会が開催した「ナラティブの書き方」の研修も功を奏し、レベルⅠ 9名、レベルⅡ 3名が認定を受けることができました。現在は、少子・高齢社会の中、医療提供体制の変化に伴い、急性期から在宅医療に至るまでシームレスな看護提供のニーズが高まっています。日本看護協会は、あらゆる施設や場におけるすべての看護師に共通する能力に焦点を当てた、標準化されたクリニカルラダーを開発・公表しました。専門性の高い腎不全看護の質向上は勿論、ケアの受け手のニーズに応じた看護が実践できるよう、既存のクリニカルラダーの見直しが急務です。看護の質向上が、患者満足度向上に繋がるような取り組みを図っていきます。

研究・自己啓発活動について

昨年に引き続き、慢性期施設合同研修会では「業務改善の取り組み～湯たんぽ廃止に向けて～」と題して透析室のケアスタッフが、CAPD ナース会では、昨年立ち上げた訪問看護ステーション光陽の看護師が、透析看護研究会においては「当院のフットケアの取り組み」を外来の看護師が、それぞれ自分たちの取り組みを発表しました。院内発表会でも、看護部の3部署が、日頃の活動や学びをまとめて発表しています。また、院外研修には、昨年と同様、個人が関心のあるものや学びたいものに1人1つは参加することを目標に取り組みました。多くの職員が、目標管理の個人目標に研修参加を掲げ取り組んでいます。また、自分のキャリアビジョンを描き、目標を持って自己啓発に取り組む意識が根付いてきました。

地域活動について

看護協会が主催する町の保健室への派遣などで地域との交流を深めました。院内では、看護部の各部署の代表が腎臓いきいき教室に参加し、講師を務めています。

(10) 外来・手術室

部門紹介

当院外来は、一般内科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・血管外科・禁煙外来を掲げております。近年様々な疾患の方が、身近な医療機関として受診して下さるようになり、多岐にわたっています。循環器医師が常駐し、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の指導の充実、診察や検査結果により、専門医への紹介など適切な医療を行っています。また、在宅透析医療・看護にも今まで以上の取り組みと学習を行っています。

外来看護師は5名体制で、外来診療業務のほかに、検査案内（エコー・CT・ホルター心電図など）、手術（シャント関係・PTA・CAPDカテーテル挿入・下肢静脈瘤の手術など）や中材管理を担当しています。外来チームとして医事課・地域連携室・検査科・薬剤科・栄養科などと連携し、患者様のQOL向上を目指し、その人らしさを大切にしながら、支援できるよう努めています。

平成29年度および平成30年度の取り組み

29年度フットケアを充実するために他部署との連携を図り、PD看護を充実させるために情報収集と他職種との協働につとめました。

30年度は、外来看護師全員が療法選択説明を確実にできるよう学習していきたいと考えています。PD患者やHHD患者、在宅透析患者へ安心して治療ができる支援を行います。

シャント関連 77件				PTA	CAPD関連 10件			下肢静脈瘤 切除	その他
内シャント 設置術	グラフト 挿入	血栓 除去	その他		カテーテル 挿入	カテーテル 抜去	その他		
34	35	4	4	191	9	0	1	2	2

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様の受診目的や病状、ニーズに沿った医療、看護を提供するには、まず気持ちよく、安心して受診していただくことと、「また来てみようかな」と思ってもらえることが大切だと考えます。そのためにも私たちスタッフが、優しい笑顔・丁寧な言葉づかい・穏やかな態度で対応できるよう心がけています。また、待ち時間が長ならないように、受付・医事課・検査部門などと連携し、情報を共有しながら「目配り・気配り・心配り」の実践に努めています。

研究・自己啓発活動について

日本糖尿病教育看護学会・日本糖尿病学会九州支部会参加
腹膜透析学会学術集会参加

地域活動について

腎臓いきいき教室は年に6回、公開講座として開催しています。案内は主に外来スタッフが行っていますが、各部署の専門スタッフが講師を務め、平成29年度は50名が受講され好評をいただいております。

(11)透析室

部門紹介

透析室は、同時透析ベッド数 74 床で、219 名の患者様の透析を行っています。

看護スタッフは 33 名（看護師 19 名・准看護師 4 名・パート職員 1 名・ケアスタッフ 8 名・クラーク 1 名）と医師・臨床工学技士・ソーシャルワーカー・医療事務・検査技師と連携をしながら業務を行っています。

透析患者様は、65 歳以上の患者様が全体の半分以上占めています。年々高齢化が進み、通院や在宅での生活に困難を来す患者様が増加しています。そのために、ソーシャルワーカー・ご家族と相談しながら社会資源を活用し在宅での生活が続けられるよう支援を行っています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

1. 穿刺キットの導入

昨年 3 月、施設見学を行った際、両施設ともに透析キットを使用しており、効率面・感染及び衛生面、特に在庫管理面での効果が高いと判断し、今年 1 月より導入しました。結果、穿刺準備から穿刺までの時間短縮や、特にコスト面での削減に繋がっています。

2. エコー下穿刺の取り組み（看護師）

エコー下穿刺については、主に臨床工学技士（CE）が担っていましたが、エコー下穿刺の患者様も増え、CE の負担軽減や穿刺技術向上のため、看護師のエコー下穿刺技術の習得に取り組みました。昨年 11 月から 3 名の看護師を対象に「エコー下穿刺技術プログラム」に沿って、模擬血管・実際の血管（スタッフ）で練習を重ね、現在は 2 名が習得できています。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

「患者満足度調査」のアンケート結果や指摘を謙虚に受け止め、「心配り・目配り・心配り」を心がけ相手を思いやる気持ちをモットーに、患者体験・丁寧な言葉使いを継続していき、より一層の信頼関係が築いていけるよう努力していきます。

5S 活動の、整理・整頓・清潔・清掃・躰を基本に環境美化にも努め、患者様が心地良く安心・安全な透析治療が受けられるようスタッフ一同で取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

平成 29 年度の院内発表会で「透析温度が身体へ与える影響について」発表し評価され、平成 30 年 6 月の第 63 回日本透析医学会で発表する予定です。資格取得については、今年 3 月に看護師国家試験に 2 名が合格し、正看護師の資格を取得する事ができました。また、個人で関心あるものや学びたい研修に参加し、日々自己研鑽に努めています。

地域活動について

年に 6 回開催される腎臓いきいき教室に 2 名が参加し講師を務めています。

(12) 病棟

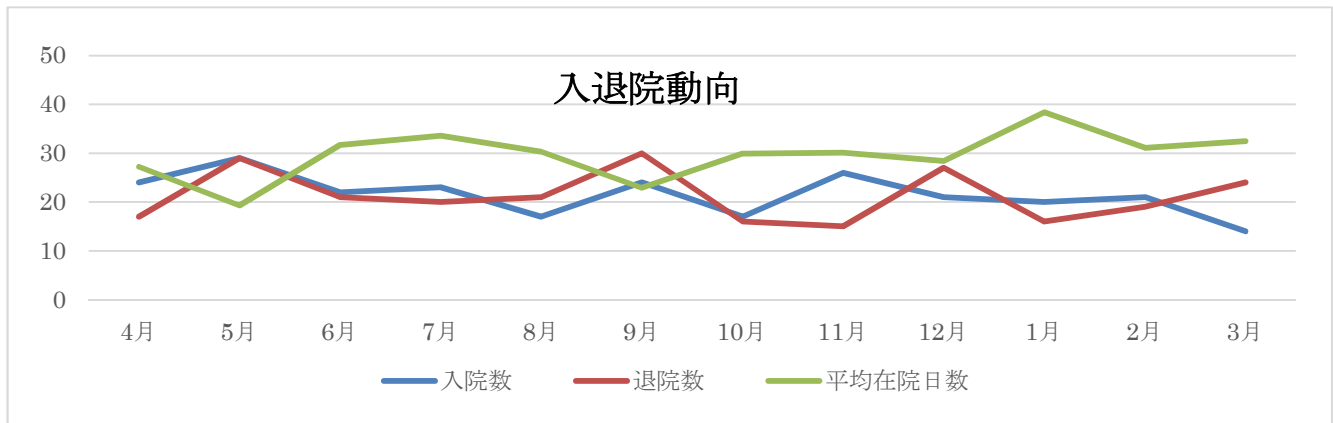
部門紹介

当病棟は、医療型療養病床（40床）、透析室（16床）を持ち、看護師17名+産休1名、ケアスタッフ10名+産休1名が所属しています。急性期病院からの療養・リハビリテーションを目的とした腎不全患者の受け入れを主とし、安心して療養できる環境づくりを目指しています。療法選択から維持透析に至るまでを患者・家族と共に考え、機能改善を図り、患者の思いに添った退院支援を働きかけています。

平成29年度動向

【導入実績】 腹膜透析導入9名 血液透析導入18名

【手術】 入院患者の手術件数 100件/年



信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

病棟では、3～4か月ごとにレクリエーションを開催しています。夏は七夕、冬はクリスマス会、桜の時期には、入院患者様と一緒に近くの公園に散歩してお花見を楽しむなど、入院生活を少しでも楽しんで頂くための取り組みを行っています。入院環境は、家族と離れ、病気を受け入れることに加え、今後の生活の不安なども重なり、上向きの気分にはならないものです。その中で、私たち看護師やケアスタッフが何かお役に立てることはないか、少しでも入院生活を楽しい思い出として残せるものはないかと考え、レクリエーションを行っています。平成29年度は、クリスマス会を大々的に行い、以前入院されていた患者様が、ブラスバンド仲間の方と一緒に、本格的な演奏を披露してくださいました。入院患者様、ご家族の方も一緒になって、楽しいひと時を過ごせたのではないかと感じています。スタッフ一人ひとりが「何かできることはないか」と常に考え「自分の家族だったらこうしてほしい」という事を目標に活動した一年間でした。今後も患者様やご家族が治療に向き合い、不安なく退院へ向けられるよう、笑顔で療養生活を送れる環境づくりに取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

日本看護協会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル取得…1名

看護職員認知症対応力向上研修終了…1名

当院におけるクリニカルラダー取得者 レベルⅠ…2名 レベルⅡ…1名

地域活動について

腎臓いきいき教室を他部署スタッフと共に活動し、CKD予防を地域に向けて発信しています。

(13)うえやま腎クリニック

部門紹介

うえやま腎クリニックは、透析室 35 床を満床とし、日中の通院が可能な方を対象に、外来透析を行っています。

透析患者様は、年々高齢化が進み患者様本人だけでなく、ご家族や関係する施設との連携が重要となってきました。患者様に必要な生活支援、社会資源の導入などを考え、地域連携室と連携し、患者様やご家族の思いに応えられるよう取り組んでいます。

看護スタッフは、看護師 12 名、ケアスタッフ 2 名、臨床工学科 2 名が所属しています。職員・患者様の存在を大切に、意見交換しやすい職場環境を目指しています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

1. 入室時間の変更、穿刺順番の変更

平成 29 年度 3 月に実施した外来患者様アンケート調査報告書を参考に業務改善を行いました。6 月より、送迎の患者様は到着時間に合わせ、二人一組で順番に穿刺を行いました。自走の患者様はブロックごとに入室時間を 8 時 45 分入室の 9 時穿刺、9 時 15 分入室の 9 時 30 分穿刺と、二つのグループに分け、順番に 3 組で穿刺を行いました。エコー穿刺患者は、エコー穿刺を習得したスタッフで対応し、穿刺終了時間が 30 分短縮することが出来ました。そのため患者様が入室し穿刺するまでの時間短縮に繋がり、穿刺に追われることなく落ち着いて行動できるようになり、患者様のケアに時間が取れるようになりました。

2. 透析専門知識と技術向上

透析治療の基礎から再確認するための 10 分間の勉強会を開催し、知識向上に努めました。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

透析患者様に安心・安全な思いやりのある看護を実践できるよう、業務中心とならないよう、透析開始から終了まで、看護ケアが出来るよう日々業務改善に取り組んでいます。患者様一人ひとりの注意点を上げ、統一した看護ケアが出来るようケースカンファレンスを開催しています。

エコー下穿刺も看護師 2 名から新たに 2 名習得し計 4 名で穿刺トラブルも対応出来るようになりました。

透析室入室時間、穿刺時間など、システム変更の説明を、患者様一人ひとりに説明していきましました。質問や意見等へは必ず返答し、理解して頂けるよう努力しています。そのため、システム変更の際も患者様から協力を頂いています。

患者様のご理解とご協力をいただき、クリニックの全スタッフが、チームとして最良の医療が提供できるよう、日々努力していきます。明るく活力のある働きやすい環境を目指し、患者様やご家族に配慮した質の高い看護を提供していきます。

研究・自己啓発活動について

1. 鹿児島県看護協会主催の糖尿病重症化予防(フットケア)研修会の 1 名、3 日間参加し

実技を交え院内研修を行いました。30 年度も 1 名参加予定。

2. 看護部主任会主催にて「急変時の対応」を、実演を交え院内研修を行いました。

3. 看護部にてクリニカルラダーレベル 1 取得者…4 名

地域活動について

正面玄関の照明の消灯時間を 22 : 00 まで延長し、クリニック前のバス停周囲が明るくなる様、地域の防犯対策に協力しています。

(14) ビューティーコアサポート外来

部門紹介

ビューティーコアサポート外来は、うえやま腎クリニック 3 階で医師 1 名、受付 1 名、エステティシャン 2 名で日々の業務にあたっています。平成 29 年度より新たに開設いたしました。「“今が一番美しい” そう思える生き方を」をテーマに皆様の健康と美をサポート出来るよう、自由診療となる分子栄養療法、施術、点滴・注射、商品販売を中心に展開しており、今後もスタッフ一人ひとりが知識と技術を磨き、ご利用者様へ選ばれる安心・安全なサービスを提供してまいります。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

ビューティーコアサポート外来は、平成 29 年 6 月のオープン以来、体の内側と外側の両面からメンテナンスできる自由診療の外来として活動しています。

体の内側のメンテナンスにあたるのが分子栄養療法ですが、分子栄養療法とは何かを知って頂くために、平成 29 年 10 月には「食と健康と美」、平成 30 年 4 月は「血液深読み会」と題しまして、職員向けに、上山菜穂医師の講話を行いました。また平成 30 年 6 月には、リビング新聞社主催の『働き女子リフレッシュナイトパーティー』に特別協賛店として参加しております。

ビューティーコアサポート外来が、皆様の健康と美に対してどのようなお手伝いができるのかを幅広い方々に知って頂くこと、更には、来院されたお客様が満足される空間、施術、おもてなしが出来るよう、スタッフ一同で取り組んでまいります。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

完全自由診療の当外来では、お客様とのコミュニケーションが大変重要になってまいります。初診会計後のアンケートによる満足度調査や、スタッフによるカウンセリングにより、お客様の声を直接聞く機会を増やすことで、お客様満足度の向上に取り組んでいます。

また、丁寧な接遇にも力を入れています。挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいに気をつけ、また職員間でも互いに好感もてる接遇ができるよう心がけています。更に質の高いサービスを提供できるよう、外部講師による接遇研修も行う予定です。また、環境整備・清潔・美化に心がけ、お客様が快適にお過ごしいただける空間をご提供いたします。

研究・自己啓発活動について

お客様のお好みやニーズに合わせた対応がスムーズにできるよう、取り扱い機材・商品の勉強会や、施術アドバイザーによる施術指導を受けています。

また、それぞれのスタッフの得意分野を相互に習得し、スタッフ全員が同じ水準で接客・施術できるよう情報や知識の共有を行っています。

地域活動について

法人の企画するイベントに積極的に参加して交流を深めます。また平成 30 年度より、宇宿商店街振興組合に加入し、おじゃったもんせ市をはじめ宇宿地区のイベントに参加し、地域に根差した活動を行います。

(15) サービス付き高齢者向け住宅 光陽

部門紹介

サービス付き高齢者向け住宅は、60歳以上の方と要支援・要介護認定を受けている60歳未満の方が入居できる施設です。スタッフは介護福祉士が8名在籍しています。居室は全部で30室あり、平成30年3月末時点では、ご夫婦も含めて16名の方が入居されています。

今後ますます高齢化社会が進んでいく中で、地域の皆様に認知していただき、入居者様同士が楽しく暮らせる施設環境を整えていきます。

平成29年度および平成30年度の取り組み

平成29年度

完成後に施工の不備が見つかり、1ヶ月にわたる改修工事のため、入居者様や新規見学者様等へご迷惑をおかけしてしまいました。居室の入居見込みも当初の目標まで届かず苦慮しましたが、地域の関係機関への働きかけを行い、交流促進を図ってきました。

平成30年度

昨年に引き続き、長寿あんしん相談センターや医療機関・居宅介護支援事業所・地域連携室との連携強化を図り、知名度アップに努めます。見学から入居までの業務をマニュアル化して、職員間で情報を共有できる態勢を整え、接遇の質の向上をはかり、入居希望者から選ばれる施設を目指します。

今年度、「光陽」の理念・基本方針を決定し、「光陽」職員用のハンドブックを作成することで、理念、基本方針の浸透をはかり、サービス向上に取り組みます。また、デイサービス、ケアプランセンター、訪問看護ステーションとの連携強化を図り、入居者様の快適な生活環境をサポートしていきます。

■光陽理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の福祉を求めて最善を尽くします。

■光陽基本方針

1. 「光あふれる陽だまりの空間で、自分らしく生きる」をコンセプトに、個別化された生活を実現できるよう支援します。
2. 福祉を実践する者としての自尊心を持ち、公共のために行動します。
3. 福祉サービスを通じて、地域との交流を促進します。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

入居者様と、日々の生活の中で信頼関係の構築を図ることを常に意識して、入居者様がいつまでも暮らしていきたいと思える環境をご提供できるよう、意見の傾聴をおこなっていきます。また、様々なニーズに対応できるような支援体制を確立していきます。

研究・自己啓発活動について

多様化するニーズに対応できる介護知識や技術を法人内外の研修で習得できるよう、自己研鑽に努めていきます。また、困難な事例を持ち寄り、多職種間で対応を検討しながら常に最適なサービスをご提供できるように進めていきます。

地域活動について

地域認知度を高めるために、地域のヘルパーステーションや居宅介護事業所への定期訪問で情報提供をおこない、町内会はじめ関係施設へはチラシ配布などの広報活動を展開していきます。

(16) 訪問看護ステーション 光陽

部門紹介

平成 29 年 1 月高齢者福祉複合施設と同時に訪問看護ステーションがオープンしてから 1 年余りが経過しました。常勤 3 名と腎愛会の他部署の看護師 2 名が兼務で在籍しています。当院の特徴である PD・HD 患者の密な訪問から始まり、今では広報活動の成果が少しずつ現れたのか、近隣の病院やケアマネからの紹介があり少しずつ利用者が増えてきたところです。在宅で安心して過ごしていただけるようにと、この 1 年は学習会や院外のような研修に参加しました。少人数のスタッフのため情報がしっかり共有でき、ケースカンファレンスを行いながら細やかで専門的なケアを心掛けています。利用者やご家族から日々いただく笑顔や感謝の言葉から力をいただいています。

平成 30 年 3 月には事務所が手狭になったため、本部ビル 3 階へ移転しました。今後ますます在宅看護が重要となってきます。その方の思いに沿った暮らし、生き方が支援できるよう、これからも一丸となって取り組んでまいります。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

29 年度は 1. 体制の整備と適切な訪問看護の提供 2. 円滑なサービスのための各関係機関との協力体制の構築 3. 利用登録者数 50 名の確保と働きやすい職場環境づくりを掲げ取り組みました。9 月 15 日は実地指導を受け、これからの業務に大いに役立ちました。11 月には自立支援医療（精神通院）の指定申請を行い、対象者を広げたところです。

30 年度はさらに自己研鑽し、連携を強化しながら医療・看護・介護の橋渡し役となれるよう努めます。新規登録者 1～2 名/月を目指し広報活動を継続するとともに、報連相を徹底し共に成長できるようチームワークの向上に努めます。

【毎月の訪問件数の推移】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
医療	18	9	43	8	0	0	0	8	10	15	1	20
介護	12	11	28	50	29	21	40	74	50	45	43	44
総計	30	20	71	58	29	21	40	74	50	60	44	64

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

サービス付き高齢者向け住宅・デイサービス・居宅介護支援事業所も稼働し、いろいろな関係機関と連携を深めているところです。当院の専門分野でもある透析治療においても、維持透析や在宅での腹膜透析が安心安全に継続できるよう支援する訪問看護の重要性を痛感しています。近隣の病院からの要請もあり、今後は在宅で療養される様々な方々の看護に幅広く対応できるように邁進してまいります。

研究・自己啓発活動について

部署内勉強会は訪問基礎看護や利用者の疾患について、機器の操作法についてなどタイムリーに開催し、年間 32 回行いました。また院外研修では訪問看護連絡協議会への参加と糖尿病・認知症・腹膜透析・緩和ケアなど多方面の研修に年間 35 回参加しました。今後も積極的に学ぶ機会を設け、自己研鑽していきます。

地域活動について

地域活動の実績はありませんが、今後法人内の活動に参加し、地域の人々との交流を深めていきたいと考えています。

(17)ケアプランセンター 光陽

部門紹介

ケアプランセンター光陽、居宅介護支援事業者は、要介護認定を受けている満 40 歳以上の方が対象になります。在宅で安心して生活が送れるように利用者に必要なサービスの提案やサービス調整を行ないます。現在ケアマネージャー2人体制で行っています。徐々に利用者様も増えてきておりますが、他事業所との情報共有や地域に密着した広報活動を行っております。

更に地域連携室との連携を密に図り、ご利用者様ご家族様が相談しやすい居宅支援事業所である様に努めていきます。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度は、事業所初の実地指導を受け事業所運営全般の書類や業務内容を再確認することができました。新規のご利用者獲得の為に広報活動に努めました。

平成 30 年度は、昨年同様に保険者・地域包括支援センター・医療機関・地域連携室・地域の各事業所と連携強化し、地域課題の把握や新規獲得に努め、利用者様がその人らしい在宅生活を送れるように支援してまいります。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

利用者様が自立した生活が送れる様、個々に応じた居宅サービス計画を基に支援します。必要時には訪問による状況把握に努め、利用者やご家族との信頼関係を構築し、体調変化等に応じた相談支援やサービス調整を丁寧に行っております。

研究・自己啓発活動について

介護保険課や各関係機関の外部研修、法人内部研修や事業所内研修に積極的に参加し、介護保険法やケアマネジメントに必要な知識を深めていきます。

困難事例等については地域包括支援センターと連携を取り、地域ケア会議にて情報共有し、事例を検討することにより、スキルアップに繋げていきます。

地域活動について

地域ケア会議に出席し連携強化や地域の課題の情報共有に努めます。

定期的な広報活動を行う事で、地域事業所と顔の見える関係作りをめざします。

広報活動では同事業所のサ高住・デイサービス・訪問看護ステーションも同時に紹介し、光陽全体の知名度を上げるように努めます。

(18) デイサービス 光陽

部門紹介

デイサービスとは、要介護・要支援認定を受けられた方を対象に入浴や食事、機能訓練、レクリエーション活動等の各種サービスを提供する介護保険サービスの一つです。

デイサービス光陽では、「その人らしさ」「個性」を大切に、やりたいこと、過ごし方を選択できるケアを目指します。

現在、生活相談員 5 名、介護スタッフ 8 名（派遣スタッフ、機能訓練指導員兼務含む）、看護師 1 名体制となっております。

現在、16 名のご利用者が登録されています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

ご利用者は、デイサービスに来られるのを楽しみにされており、満足度は高いと思われます。ターミナルの方が週 5 回ご利用されたり、認知症の方が不穏にならず落ち着いて過ごされたりするなど、質の良い環境を作ることができています。今年度は新規ご利用者獲得の為に営業活動やブログでの情報発信などを積極的に行っていきたいと考えています。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

「その人らしさ」「個性」を大切にすることを念頭に置き、職員主導のサービス提供にならないよう留意します。また、今後のご利用者様の増加に対しても、デイサービス光陽の穏やかな雰囲気や温かいサービスなどを維持する努力を怠らず、常に細やかな目配り、気配りを心掛けて、ご利用者と向き合っていきます。また、お花見やソーメン流し、夏祭り等のイベントにも力を入れ、飽きのこない多様なサービス提供で、更に楽しんでいただけるよう取り組みます。

研究・自己啓発活動について

外部の事業所やケアマネ等と交流をもつ機会を作り、情報交換や営業活動へ繋げていきます。また、そこで得たものを当事業所のサービス向上や職員のスキルアップに活かしていきます。

地域活動について

地域の活動やイベントなど、ご利用者と共に参加する機会を作るため企画立案します。地域の子供たちとの交流がもてるようなイベントを検討していきます。

(19) 法人本部 事務部

部門紹介

事務部は、総務課と施設課で構成されており、上山病院並びにうえやま腎クリニックの庶務、システム管理、施設の維持管理、患者送迎、清掃等の業務と高齢者福祉複合施設 光陽 の庶務、施設の維持管理、清掃業務を担当しています。平成 30 年 2 月には、経営管理部との業務分担を見直し、一部人事に関する業務も担っています。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度は新たに取り組んだ介護事業である高齢者福祉複合施設 光陽が本格稼働し、「腎愛会らしい介護」を確立すべく、医療と介護の融合に取り組んだ 1 年でした。

平成 29 年 6 月にスタートした、うえやま腎クリニックのビューティーコアサポート外来では、開設にあたってのサポートを行いました。この外来は、分子栄養療法を中心とした自費による美容外来となります。

いずれもこれまで取り組んだことのない事業となりましたが、様々な部署の協力を得ながらより良いものとするべく取り組んで参りました。

平成 30 年 6 月には、ビューティーコアサポート外来の診療日をこれまでの週 2 日から、週 6 日（日・祝休）へと診療日数を拡大予定です。

同じく平成 30 年 6 月から、うえやま腎クリニックにて新たに「形成外科」を標榜する予定ですので、新年度も既存の事業と新たな事業の一体化に取り組んで参ります。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

ご意見箱をはじめ患者様・ご利用者様よりいただいた要望・意見等について、今後も真摯に対応して参ります。

それに加え、患者様・ご利用者様満足度の向上は働いている職員の満足度が高くなければ、実現できないことから、職員がより働きやすい職場となるよう、福利厚生 of 更なる充実のため検討、実行していきます。

研究・自己啓発活動について

平成 30 年 4 月の医療・介護同時改定に向けた情報収集と分析を行いました。早めに予測し対処することが不十分でした。平成 30 年度は法人本部内での役割分担を見直し、不十分な分野に取り組める組織作りを行っていきます。

平成 30 年 10 月に鹿児島で開催される「第 26 回日本慢性期医療学会」に、法人本部からは施設課と医事課が演題発表予定となっており、準備を進めています。

地域活動について

腎愛会は今後も地域の皆様の「頼れるかかりつけ医」であり続けるために、毎年開催している「地域公開講座」「出前講座」を継続していきます。

平成 30 年度は「宇宿商店街おじゃったもんせ市」への参加も検討していきます。

(20) 事務部 総務課

部門紹介

総務課は常勤3名、短時間職員2名、合計5名で構成されています。秘書業務は理事長秘書や医師の業者面会の調整、庶務業務は職員の入退職の準備・慶弔関係・朝礼や院内の行事などの運営、職員の出張・研修の手配等、職員の福利厚生全般など幅広く対応しています。また法人内のシステム管理業務も行っています。患者様が安心して受診できるような環境づくりと、職員が安心して楽しく働ける環境を整えるために日々の業務に臨んでいます。

平成29年度および平成30年度の取り組み

平成29年度は、経営管理室からの職員異動により、新たにシステム管理業務も行うようになりました。腎愛会のシステム全般を管理しています。

昨年度に引き続き、福利厚生の一環として職員講座を企画し、5月に「電子メールの基礎知識とマナーについて」、7月に「お金の話」、10月に「妙円寺詣り」(悪天候のため中止)、12月に「お正月飾り(ミニ門松)を作ろう」を開催しました。

また、職員の福利厚生施設である霧島山荘の貸し出し管理と施設課と協働での清掃管理も行いました。

平成30年度は引き続き、経営管理室との業務の見直しにより、適切な業務分担をしていき、業務がスムーズに遂行できるように改善していきます。患者様や来客者・職員に対して適切な対応ができるよう接遇マナーに力を入れ、対応力のレベルアップに努めます。また、法人全体の行事・業務が円滑に進むように、部署間の連携をとっていきます。職員講座の企画も工夫して職員が働きやすい環境を作っていきます。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様との接遇では挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいに気をつけ、また職員に対しても好感のもてる対応に心がけ、全職員の模範となるような接遇力を目指します。

研究・自己啓発活動について

平成29年度の職員講座では、外部講師の力を頼らず職員が自ら講師を務めました。また、院外の研修に積極的に参加し、その伝達研修も行いました。

総務課より1名、電話対応コンクールに出場し、県大会で優良賞を収めることができました。

地域活動について

法人や各部署の企画する活動に積極的に協力していきます。

(21) 事務部 施設課

部門紹介

施設課は運転チーム7名、清掃チーム7名、保安業務1名及び運転業務委託5名の20名で構成しています。外来透析患者様送迎用の車両はワゴンタイプ5台、軽自動車1台で運営しています。

病院送迎車6台・光陽送迎車3台・多目的車1台の計10台の車両管理を行っています。

運転チームは、透析患者様（平成30年3月末現在118名）の送迎を主な任務とし、鹿児島市内、吹上・伊集院方面の他、遠くは東市来・川辺方面を送迎しています。

また上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽・本部ビル・霧島山荘などの建物や駐車場の管理・防火管理・緑化、設備機器全般の維持管理として、空調機のフィルター・換気扇の清掃、消防設備機器・車いすの点検や、防犯巡回等の業務を行っています。

清掃チームは、上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽施設内の各フロアの床清掃・ゴミ回収・じゅうたん清掃・浴槽清掃の他、建物内外の細部にわたり清掃業務を行っています。

平成29年度および平成30年度の取り組み

1. 無事故・無違反を推進するため安全運転管理者を選任しています。
2. 運転技能研修では、他の職員に同乗してもらい乗り心地や運転操作などについて意見をもらい、運転技能向上の取り組みを行いました。
3. 月に1度、乗降介助研修や勉強会・ヒヤリハット報告会を開催し、送迎運転の安全性向上に努めています。
4. 車両事故・故障を事前に防ぐ為、始業前点検・日常点検・週点検・月点検を確実に行いました。
5. 他部署との連携を密に取り業務改善に繋がります。
6. これらの取り組みから、患者様に安全で安心なやさしい送迎業務を今後も実践します。
7. 施設管理業務に力をいれ、建物及び設備の状態維持及び改善ができる様、日々の管理・点検を行います。

清掃チームは、清掃業務の標準化を図る目標をたて、清掃業務の基本や清掃用具の取り扱いについて研修を行い、清掃技術のレベルアップに努めました。平成29年度も清掃研修・ラウンドを通じ清潔で綺麗な病院清掃、安全な清掃作業を行います。

施設外職員駐車場周りの美化活動や施設内外の緑化活動を施設課全体で行っています。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

運転チームでは、患者送迎の目標である「交通ルールを厳守し、地域の模範となる人に優しい送迎サービス」を目指し、安全運転管理者を中心に「無事故・無違反」を実践していきます。

各施設内外の清掃では、施設課スタッフ全員で、清潔で快適な施設環境を整え、患者様はじめ来院される方々が、気持ち良く施設をご利用頂けるように取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

1. 院内研修に積極的に参加し、腎愛会の医療・接遇・マナーについて知識を広げていきます。
2. 安全で安心な送迎業務を行うため外部研修（福祉車両運転者講習）を運転チーム全員が取得し、車両事故・転倒事故の防止に努めます。
3. 清掃技能研修（DVD研修など）を定期的に行い、清掃技術を高めめます。

地域活動について

患者様との懇親会に積極的に参加し、親睦を深めています。また美化活動として、病院周りだけではなく、職員駐車場付近まで範囲を拡げ美化活動しています。

(22) 法人本部 経営管理部

部門紹介

経営管理部は平成 28 年度に新たに設置された部課です。
所属の医事課、経営管理室を中心として、法人本部における「収入」「支出」「人事」に関わる業務の統括を行います。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

平成 29 年度の新たな取り組みとして、これまで内部で行ってきた「職員満足度アンケート」を専門業者への完全外部委託（アンケート内容・集計・分析・評価等）としました。
実施初年度ということもあり様々な意見がありました。必要十分な客観性を確保した結果としては「概ね良い勤務環境である」ことが示されました。
アンケート結果の部長会における報告会、分析に基づいた全役職者を対象とするワークショップなども、当法人においては初の取り組みとなりました。
経営管理部として、課長会、幹部会議をはじめとする会議体メンバーに協力を頂きながら、「職員の意欲」と「職員の満足度」をより高めるため、アンケート結果から導き出されたポイントに対する改善の取り組みを行いました。
早々に結果が出るほど簡単なことではありませんので、引き続き粘り強く取り組んで参ります。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

患者様満足度の向上には職員資質の向上＝役職者の資質能力向上が不可欠と考えます。
平成 28 年度より法人本部の所属部署、地域連携室、高齢者福祉複合施設「光陽」、株式会社ユーエスケイ企画の管理職での勉強会を月 1 回行ってきました。
平成 30 年度からは、業務扱いの研修に格上げし、管理職・役職者として職員の手本を示すべく研鑽を積んでいきます。

研究・自己啓発活動について

法人の適正運営に必要な人事・労務に関する関連法規、人事制度、組織運営、経理・財務、人材育成、教育研修プログラム、組織論・リーダーシップ等をテーマとした勉強会を開催、参加研修の報告書による一般職員へのフィードバック等を行いました。

地域活動について

今年度は具体的な取り組みが出来ませんでした。平成 30 年度は「医療・介護・自由診療」という腎愛会グループの 3 本柱で、地域に貢献できる取り組みを検討してまいります。

(23) 経営管理部 医事課

部門紹介

私たち医事課は、診療に関する事務的業務の役割を担っています。受付・一般外来・透析外来・入院の保険請求事務、各種書類の手続き、未収金管理、診療録管理に加えて、透析室・病棟でのクラーク業務を兼務しています。また、診療に関する集計業務・統計資料作成や施設基準等に係る手続き・実施報告も担当しています。他部署との連携を図りながら、医療サービスの提供に努めています。

平成 29 年度の取り組み

平成 29 年度は、業務の目標・成果・進捗状況を詳細にした「することリスト」の内容の見直しを行い、業務平準化や情報共有を図ることに努めてきました。また、他職種に向けて診療報酬への理解を深め、コスト感覚向上を促すために、医事課職員によるワンポイントレッスンを褥瘡委員会・透析室ミーティング内にて開始し好評を得ました。月 1 回開催される医事課ミーティングでは、査定・返戻の原因追及により、請求業務の精度を上げています。平成 30 年 4 月から開始する在宅血液透析に向けても、事務的立場からプロジェクトメンバーに参加し、施設基準の条件に満たすように申請準備に取り組んでいます。これまで腎疾患初診予約枠を設けていませんでしたが、10 月から予約枠を設けることにより、スムーズな診療が行えるようになりました。企業のインフルエンザワクチン接種受け入れは、うえやま腎クリニックと協力して増やすことが出来ました。

平成 30 年度は、訪問リハビリテーションも開設されるため、介護保険への知識向上と 10 月に開催される「日本慢性期医療学会」の演題発表や院内研究発表に向けて取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院を目指して ～患者様満足度向上の取り組み～

笑顔は、言葉を越えた最高のコミュニケーションツールとなることから、「明るい笑顔」をモットーに、話しかけやすい・相談しやすい受付対応に心掛けています。また、治療費や各種書類申請、福祉制度に関することなど、わかりやすく丁寧な説明を行っています。

電話対応では、日本電信電話ユーザー協会主催の「電話対応コンクール」に今年度 2 名参加し、技術向上に努めています。

研究・自己啓発活動について

- ・各種院外研修へ参加しています。(2015 年地域医療構想、女性活躍推進企業、ペップトーク、レジリエンス、アンガーマネジメント、時間管理マネジメント、電話対応など)
- ・院外研修参加者は、フィードバック研修(アンガーマネジメント、ペップトークなど)を行いスキル向上に繋がっています。
- ・電話対応コンクール(テープ審査会)に 2 名参加しています。
- ・茶道部員による職員への抹茶点て出しを行い、くつろぎの時間を提供しています。

地域活動について

- ・腎臓いきいき教室のメンバーに入っており、腎臓保存期の患者様の医療費に関わる情報提供を行っています。
- ・近隣の訪問看護ステーションより依頼を受け、医事課職員による外部接遇研修を実施しています。
(29.8.4)

(24) 経営管理部 経営管理室

部門紹介

経営管理室は、現在は常勤 2 名、短時間職員 1 名体制で、日々の業務にあたっています。主な業務として、①人事・給与業務、②経理・財務業務、③広報や、院内研修・各種研修や会議の取りまとめ、企画業務の 3 つがあり、それ以外に法人全体に関わる行事・イベントの企画・運営も担っております。「高齢者福祉複合施設 光陽」、「ビューティーコアサポート外来」の新設により、医療・介護・自由診療の連携がスムーズに行えるように、一人ひとりが幅広い対応を心掛けていきます。

平成 29 年度および平成 30 年度の取り組み

- ① 人事・給与：平成 29 年度は、当法人独自の職員シートの運用が 3 年目を迎えました。前年度の反省を元に評価グループや評価方法の見直しを行い、より公平に多面的に評価できるよう改善しました。平成 30 年度は評価者研修を行い、評価基準や視点のすり合わせ、フィードバック時の面談方法などを同じ水準で実施できるように取り組んでいきます。
平成 30 年度も福利厚生の実策と合わせて、外部専門業者による職員満足度アンケートの実施、その分析結果による役職者のワークショップを予定しており、より具体的な労働環境の改善ポイントを探り、働きやすい環境の実現を目指します。
- ② 経理・財務：平成 29 年度は、「高齢者福祉複合施設 光陽」の新設に伴い、光陽運営会議へ収支・利用人数の月次報告資料の提出を行いました。介護事業においては比較検討する為のデータが少ないので、昨年度の引き続きデータの蓄積に力を入れていきます。平成 30 年度は医療・介護・ビューティーコアサポート外来の融合により安定した経営基盤を構築できるよう、財務面でのバックアップをすすめていきます。
- ③ 企画：平成 29 年度はホームページのブログの更新に力を入れました。役職者に輪番制で担当してもらい、1 週間に 1 回の更新を目指しました。外来受診の増加や求人採用のために今後も継続していきます。また平成 29 年 2 月よりホームページを一新しようとホームページリニューアル PT を立ち上げました。平成 30 年の夏に公開できるように取り組んでいきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様・ご利用者様の満足度の向上には職員満足度の向上が不可欠と考え、福利厚生の実策や働きやすい職場環境の実現を目指します。今後も引き続き、職員のモチベーション向上に繋がる企画立案・実行に取り組めます。

研究・自己啓発活動について

法人の適正運営に必要な人事労務に関する関連法規、人事制度、経理・財務の研修に参加し、各自が担っている専門領域の知識を深めました。また、平成 30 年度は事務系職員の研修を月に 1 回開催し相互理解を深め、法人に貢献できるように取り組んでいます。

地域活動について

法人の企画するイベントや地域活動に積極的に参加して、交流を深めます。

6 研究実績

(1) 発表

年月日	演題	発表者	学会名	会場名
平成29年6月17日	NVF-Hの使用評価	鎌田(嗣)	第62回日本透析医学会	パシフィコ横浜
平成29年7月30日	当施設におけるフットケアの現状	赤池	第10回鹿児島県透析看護研究会	鹿児島県青少年会館
平成30年3月13日	業務改善の取り組み ～湯たんぼ廃止に向けて～	紙屋	慢性期施設合同研修会	キャンセビル8F
平成30年3月17日	当院におけるベルト電極式骨格筋電気刺激法導入に向けての取り組み	前野	第8回日本腎臓リハビリテーション学会	仙台国際センター

(2) 座長

年月日	演題名	氏名	学会名	会場名
平成29年4月27日	慢性腎臓病患者の貧血管理 ～最新の鉄代謝理論を踏まえて～	上山達典	鹿児島県透析医療従事者セミナー2017	レンブラントホテル 鹿児島
平成29年6月22日	副甲状腺の気持ちがわかるカルシウム・リン代謝 -PTHのオシレーションを科学する-	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	鹿児島サンロイヤル ホテル
平成29年6月24日	一般演題「心内膜炎・腫瘍」	嘉川亜希子	第122回日本循環器学会 九州地方会	アクロス福岡
平成29年7月20日	安全で効率的な透析運動療法 ～貧血を改善して元気に動こう～	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル
平成29年8月20日	一般演題	上山達典	維持透析患者の補完代替 医療研究会 九州支部大会	アクロス福岡
平成29年8月31日	高尿酸血症とCKD・CVDの関連	上山達典	腎と高尿酸血症 フォーラム	鹿児島サンロイヤル ホテル
平成29年9月16日	そうだったのか！PD	岩下龍史	PD学術講演会	鹿児島サンロイヤル ホテル
平成29年9月16日	Poster session 「Cardiology (Heart Failure, Other)」	Akiko Yoshikawa	the 8th Congress of the International Society for Gender Medicine Society	仙台国際センター
平成29年12月2日	研修医セッション1	嘉川亜希子	第123回日本循環器学会 九州地方会	久留米シティプラザ
平成30年1月16日	保存期腎不全の臨床最前線 ～降圧薬の功罪と高尿酸血症を含めて～	上山達典	鹿児島市内科医会 学術講演会	鹿児島市医師会館
平成30年1月20日	特別シンポジウム 医学教育におけるキャリア教育	嘉川亜希子	第11回日本性差医学・ 医療学会学術集会	福岡市パピヨン21
平成30年2月22日	エビデンスに基づくCKD-MBD治療戦略	上山達典	透析合併症対策講演会	東急REIホテル
平成30年2月24日	透析医療の現況と課題 透析患者に対する心臓大血管手術	上山達典	TORII学術セミナー in 鹿児島	城山観光ホテル
平成30年3月20日	当院における50症例のエテルカルセチド使用経験	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル

(3) 院内講演会

年月日	演題名	講師
平成29年6月29日	高齢者透析療法を考える	上山達典
平成29年10月17日	食と健康と美	上山菜穂

(4) 講師

年月日	演題名	氏名	主催	会場名
平成29年4月21日	バイエル薬品(株)社内勉強会	上山達典	バイエル薬品(株)	サンプラザ天文館
平成29年5月19日	キッセイ薬品工業(株)社内勉強会 (腎臓疾患に関する研修会)	上山達典	キッセイ薬品工業(株)	サンプラザ天文館
平成29年7月21日	鳥居薬品(株)社内勉強会 (HDFについて)	上山達典	鳥居薬品(株)	鳥居薬品(株) 鹿児島オフィス
平成29年8月31日	震災に影響される循環器疾患	嘉川亜希子	第6回性差医療情報 ネットワーク (NAHW) 九州支部セミナー	熊本市医師会館
平成29年9月26日	循環器領域における性差医療	嘉川亜希子	県立福島医大臨床講義	県立福島医科大学
平成29年10月18日	「生活習慣病における性差 ～高尿酸血症は男の病気?～」	嘉川亜希子	出水郡薬剤師会 生涯教育研修会	高尾野市民会館
平成29年12月25日	キッセイ薬品(株)社内勉強会 (HDFの話)	上山達典	キッセイ薬品工業(株)	サンプラザ天文館
平成30年2月24日	「尿酸の性差」 ～女性だって尿酸値を気にしよう～	嘉川亜希子	高尿酸血症・痛風 メディカルスタッフ セミナー	NCサンプラザホール

(5) 院内研究発表会 (平成29年9月14日)

	演題名	発表者
1	うえやま腎クリニックにおける、痒み軽減への取り組み	うえやま腎クリニック 奥園
2	高齢者の交通事故についての考察	施設課 迫立
3	離床センサーで行動制限を行った患者から学んだこと	病棟 蓑田
4	透析液温度が身体に与える影響について ～35.5℃、37.5℃における鼓膜温・血圧・LDF・BVの変化～	2階透析室 鬼塚
5	難治性腹水に対し、デンバーシャントが著効した一例	診療部 岩下
6	USK通信売上実績について	USK企画営業販売課 星野

7 院内研修開催実績

(1) 法定研修

年月日	テーマ	講師	主催	参加人数
平成29年 8月31日	震災時避難訓練～各部署からの報告～	-	医療安全・ 医療事故委員会	169名
	1階：地震発生時の対応での問題点	医事課 波江野		
	2階：地震発生などによる停電時に緊急離脱を要する時のコンソール操作方法	臨床工学科 柿ノ谷		
	3階：避難訓練を実施して気づいたこと	病棟 内村		
平成30年 3月6日	医薬品の安全な使用について	薬剤科 寺師	医療安全・ 医療事故委員会	176名
	インシデントの集計報告	医事課 波江野		
	透析施設における感染対策	協和発酵キリン(株) 増田友徳様	感染対策・ 輸血療法委員会	

(2) 薬剤科勉強会

年月日	内容	講師	参加人数
平成29年4月24日	ロトリガ粒状カプセル 勉強会	武田薬品工業(株)	13名
平成29年5月29日	インスリン製剤について 勉強会	日本イーライリリー(株)	12名
平成29年6月26日	水痘ワクチン 勉強会	田辺三菱製薬(株)	14名
平成29年7月31日	ミルセラ注シリンジ 勉強会	中外製薬(株)	16名
平成29年8月28日	エムラクリーム 勉強会	扶桑薬品工業(株)	14名
平成29年9月25日	エポエチンアルファBS, ピートル 勉強会	キッセイ薬品工業(株)	14名
平成29年10月30日	ピソノテープ 勉強会	トーアエイヨー(株)	13名
平成29年11月27日	レミッチOD錠 勉強会	鳥居薬品(株)	16名
平成30年1月29日	タケキャブ錠 勉強会	武田薬品工業(株)	16名
平成30年2月26日	アレサガテープ4mg, 8mg 勉強会	久光製薬(株)	14名
平成30年3月26日	ネスブ注射液 勉強会	協和発酵キリン(株)	14名

(3) 看護部研修

年月日	内容	講師	参加人数
平成29年9月22日	食事摂取時の窒息における急変時処置及び対応～DNARでない患者例～	上山病院 病棟 小湊	12名
平成29年10月5日	訪問看護中の緊急時対応	訪問看護ステーション光陽 今村	3名
平成29年10月10日	透析中の血圧低下、急変時の対応	上山病院 透析室 堀之内	18名
平成29年10月21日	急変時に対応できる看護実践能力を高める	うえやま腎クリニック 板敷	15名
平成29年10月27日	透析治療中の急変時の対応	上山病院 病棟 有馬	11名
平成29年12月26日	糖尿病重症化予防 フットケア	うえやま腎クリニック 新福	15名
平成30年1月5日	看護部役職者研修 看護部の現状分析 SWOT分析	看護部	10名

(4) 管理・介護部門 役職者勉強会

年月日	テーマ	担当	対象
平成29年5月16日	『人生の王道』⑤第5章「大計」／聞き方	経営管理部 梅森	管理職
平成29年5月24日	実相寺磧のエピソードに学ぶ	事務部 西	事務職員
平成29年6月13日	マネジアル・グリッド	経営管理室 木山	管理職
平成29年6月28日	PEPトーク・フィードバック研修	医事課 波江野	事務職員
平成29年7月11日	エクセレントホスピタル③ サービス志向の文化を作る	事務部 西	管理職
平成29年7月26日	『人生の王道』⑥第6章「覚悟」／言葉で評価される時代	経営管理部 梅森	事務職員
平成29年8月8日	エクセレントホスピタル④リーダーを育成する	事務部 西	管理職
平成29年8月21日	「外に向かう言葉」と「内なる言葉」	経営管理部 梅森	事務職員
平成29年9月12日	『人生の王道』⑦第7章「王道」	経営管理部 梅森	管理職
平成29年9月27日	エクセレントホスピタル④-2 リーダーを育成する	事務部 西	事務職員
平成29年10月10日	エクセレントホスピタル⑤職員の満足度に重点を置く	事務部 西	管理職
平成29年10月25日	「内なる言葉」と向き合う	経営管理部 梅森	事務職員
平成29年11月14日	ほめる技術	経営管理室 木山	管理職
平成29年11月29日	「聞き方」	経営管理部 梅森	事務職員
平成29年12月12日	「話し方」	経営管理部 梅森	管理職
平成29年12月27日	1年間の振り返り		事務職員

(5) 入職者研修

年月日	テーマ	講師	参加人数
平成29年 4月8日、9日	霧島山荘 新人研修	各部署・委員会	7名
平成29年 4月11日、12日	新規入職者研修	各部署・委員会	8名
平成29年 6月13日、14日	中途入職者研修	各部署・委員会	3名
平成29年7月27日	中途入職者研修	各部署・委員会	1名
平成29年 11月14日、16日	中途入職者研修	各部署・委員会	3名
平成29年 12月19日、20日	中途入職者研修	各部署・委員会	5名
平成30年 2月27日、28日	中途入職者研修	各部署・委員会	4名

(6) その他の研修

年月日	テーマ	講師	参加人数
平成29年 4月13日・20日	透析機器安全管理勉強会 TR-3300M講習会	東レ(株) 渡辺様	9名
平成29年4月20日	体験からの学び	坂元 岩下 石川 星野 的場 山崎 小寺	94名
平成29年6月20日	初めて学ぶ役職者講座 フィードバック研修	経営管理室 藤間 デイサービス光陽 石川	33名
平成29年7月19日	新ビジネスコミュニケーション研修 フィードバック研修①	総務課 山岡	11名
平成29年7月25日	職員満足度アンケート結果に基づくワークショップ研修	株式会社日本経営 太田昇蔵様・高比良寛治様	39名
平成29年9月20日	新ビジネスコミュニケーション研修 フィードバック研修②	総務課 山岡	19名
平成29年10月31日	当院における透析治療の特徴	上山病院 臨床工学科 柿ノ谷	57名
平成29年12月13日	新ビジネスコミュニケーション研修 フィードバック研修③	総務課 山岡	11名
平成29年12月14日	認知症サポーター養成講座	谷山病院 鎌倉克幸様	69名

(7) 職員講座

年月日	内容	講師	参加人数
平成29年5月25日	電子メールの基礎知識とマナーについて	総務課 山岡・脇	13名
平成29年7月13日	お金の話～クレジットのひみつ～	経営管理室 木山	36名
平成29年12月21日	ミニ門松を作ろう	フラワーショップ花曜日店長・ ショウコフラワースクール主宰 迫章子様	20名

(8) 説明会・報告会

年月日	テーマ	講師	参加人数
平成29年6月8日	病院厚生年金基金説明会	病院厚生年金基金事務局 常務理事	全員
平成29年6月27日	池田病院・今村総合病院見学報告会	上山病院 臨床工学科 鎌田 上山病院 透析室 西村	34名

8 1年間の主な出来事

- | | |
|----------|-------------------------|
| 4月3日 | 開院記念式 |
| 4月8～9日 | 霧島山荘 新人研修 |
| 4月11～12日 | 新入職員研修 |
| 6月3日 | ビューティーコアサポート外来 オープン |
| 6月15～17日 | 日本透析医学会 |
| 6月29日 | 理事長講話 |
| 7月1日 | 第5回理事長杯ボウリング大会 |
| 7月20日 | 鹿児島県透析医会総会・学術講演会 |
| 7月30日 | 九州CAPD検討会 |
| 8月5日 | ターザン会 |
| 8月20日 | 維持透析患者の補完・代替医療研究会 九州支部会 |
| 8月27日 | 日本統合医療学会鹿児島支部会 |
| 9月1日 | 日本透析医会災害時情報伝達訓練 |
| 9月14日 | 第16回院内研究発表会 |
| 12月2日 | 腎愛会・ユーエスケイ企画忘年会 |
| 1月4日 | 年始式 |
| 1月25日 | 葉月会(職員互助会)総会 |
| 2月25日 | CKD啓発イベント「世界腎臓デーinかごしま」 |
| 3月20日 | 鹿児島県透析医会学術講演会 |
| 3月25日 | 第52回USリーナル会(ゴルフ) |



開院記念式



年始式

9 医療機器

CT



超音波断層装置



透析監視装置



【その他】

電気メス

手術台

患者監視装置ベッドサイドモニター
セントラルモニター

パルスオキシメータ

聴力計オーディオメータ

マイクロスコープライザー

長時間用心電用データーレコーダ

顕微鏡

心電計

血圧脈波検査装置

超音波診断装置

(腹部・心臓・頸部・血管)

吸引機

自動血球計数測定装置

生化学自動分析装置

エンドトキシン測定装置

純水装置 (オルガニクユアライト)

電解質分析装置

逆浸透水处理装置

多人数用透析液供給装置

多人数用透析監視装置

個人用透析装置

個人用逆浸透水处理装置

自動溶解装置

透析液クリーン化ユニット

浸透圧分析装置

血圧監視装置

患者監視装置

滅菌バックシラー

高圧蒸気滅菌器サボークレーブ

ガス滅菌器ケスキューブ

超音波式ネプライザー

除細動器

AED

錠剤自動供給装置

X線一般撮影装置

X線CT装置

CR装置

電子ポケット線量計

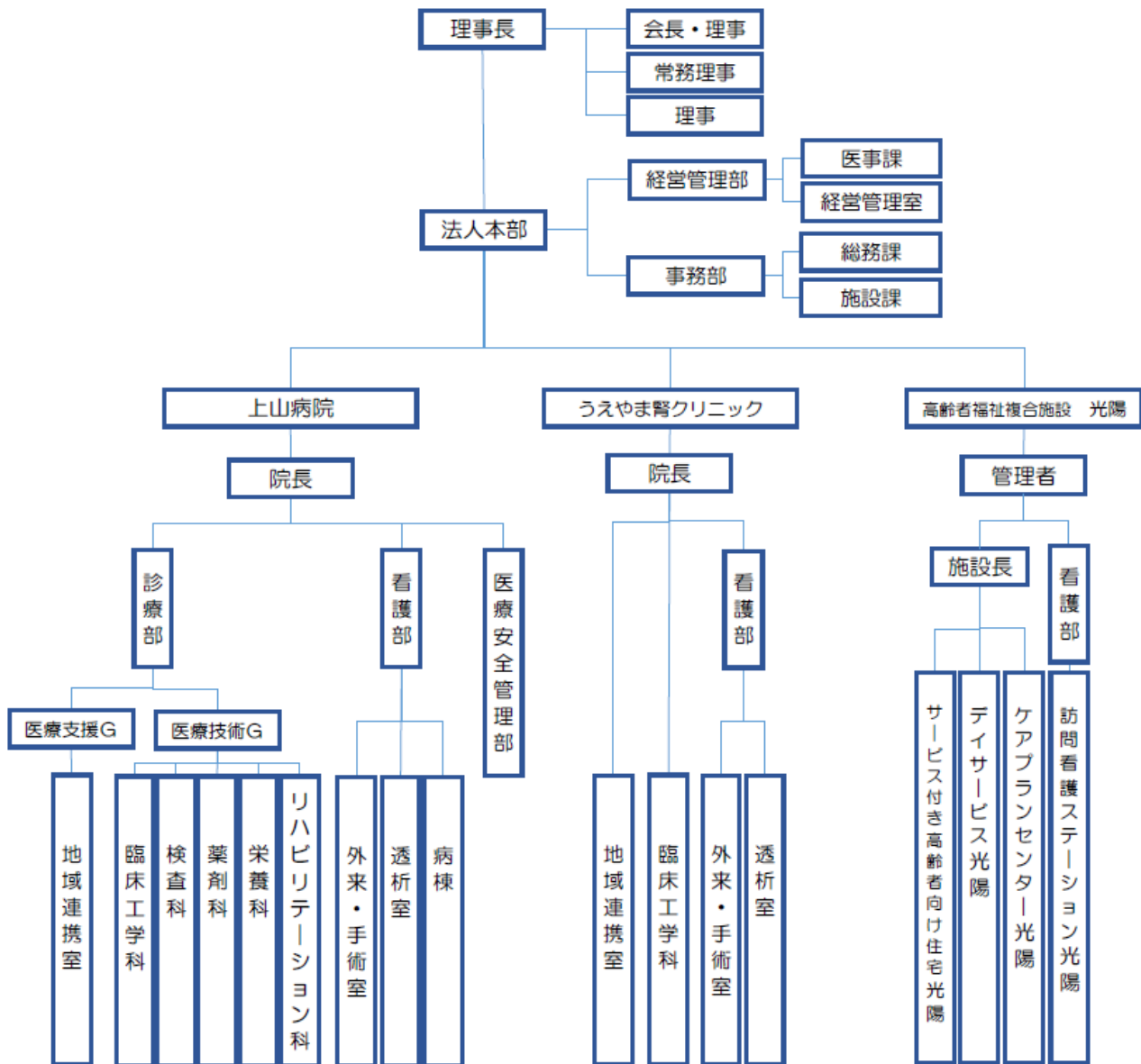
X線テレビ装置

凝固測定用経過時間タイマー

外科用C7-ム

10 組織図

平成 29 年 4 月 1 日改正



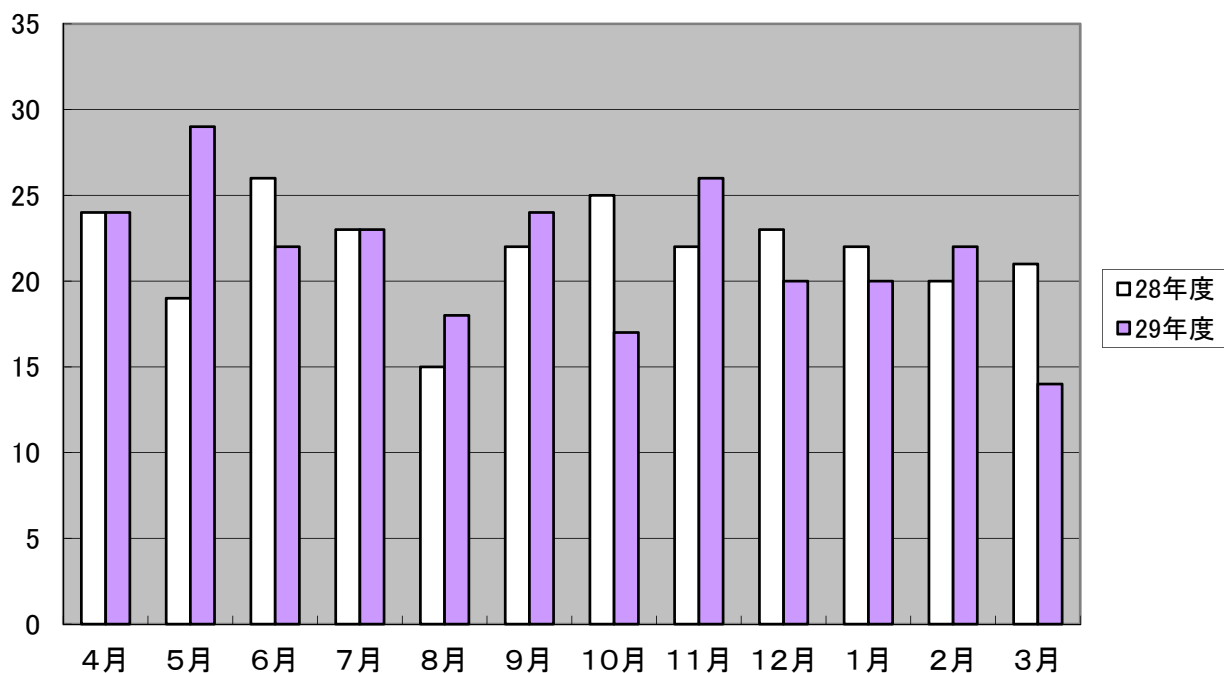
11 委員会活動

名称	内 訳	開催頻度	人数	委員会の活動内容
医療安全管理委員会		年 2 回	7 名	医療安全管理のための統括調整機能を果たす委員会。 医療安全管理のための組織に包括される各委員会の代表者と医療安全管理者から構成される。
第 1 委員会	医療安全	月 1 回	31 名	ヒヤリハット報告書の収集分析等を通して、医療事故の防止、安全かつ適切な医療の供給体制の確立を目的として活動する。
	医療事故		32 名	医療事故・医事紛争の予防対策の検討や医療事故発生時の原因究明・改善策の提案など、医事紛争を解決するための活動を行う。
	倫 理	隔月 1 回	9 名	倫理的諸問題を解決するための活動を行う。
第 2 委員会	感染対策	月 1 回	30 名	院内感染の予防対策や知識の啓蒙を図り、感染の発生防止体制の確立を目的として活動する。
	輸血療法			血液製剤の安全供給かつ適切な使用の実践が行われるための活動を行う。
第 3 委員会	安全衛生管理	月 1 回	28 名	職場の安全管理や職員の衛生管理を行う。
	医療ガス			医療用ガス及びその供給設備についての安全管理を行う。
第 4 委員会	褥瘡対策	月 1 回	27 名	入院患者様の褥瘡発生を防止し、発生した場合に適切な治療を行うための活動を行う。
	給 食			給食業務に関する連絡調整を行うと同時に、おいしい食事提供のために検食を行い、栄養士に意見を伝え、改善に努めることを目的とする。
第 5 委員会	薬事委員会	月 1 回	8 名	医薬品の適正使用及び管理や新規医薬品の採用の決定を行う。
第 6 委員会	透析機器安全管理	月 1 回	12 名	透析液の水質管理を行い、安全な透析を行うための活動を行う。
第 7 委員会	教 育	月 1 回	32 名	職員に対する院内教育についての企画・総括・調整を行います。また、年に1回、院内研究発表会を開催する。
	接 遇 マナー			外部講師による指導も受けながら、接遇向上のための活動を行う。委員は、学んだことを職場に持ち帰って、職員に実践してもらう役目を担う。

12 統計 (1)患者データ【上山病院】

①新入院患者数

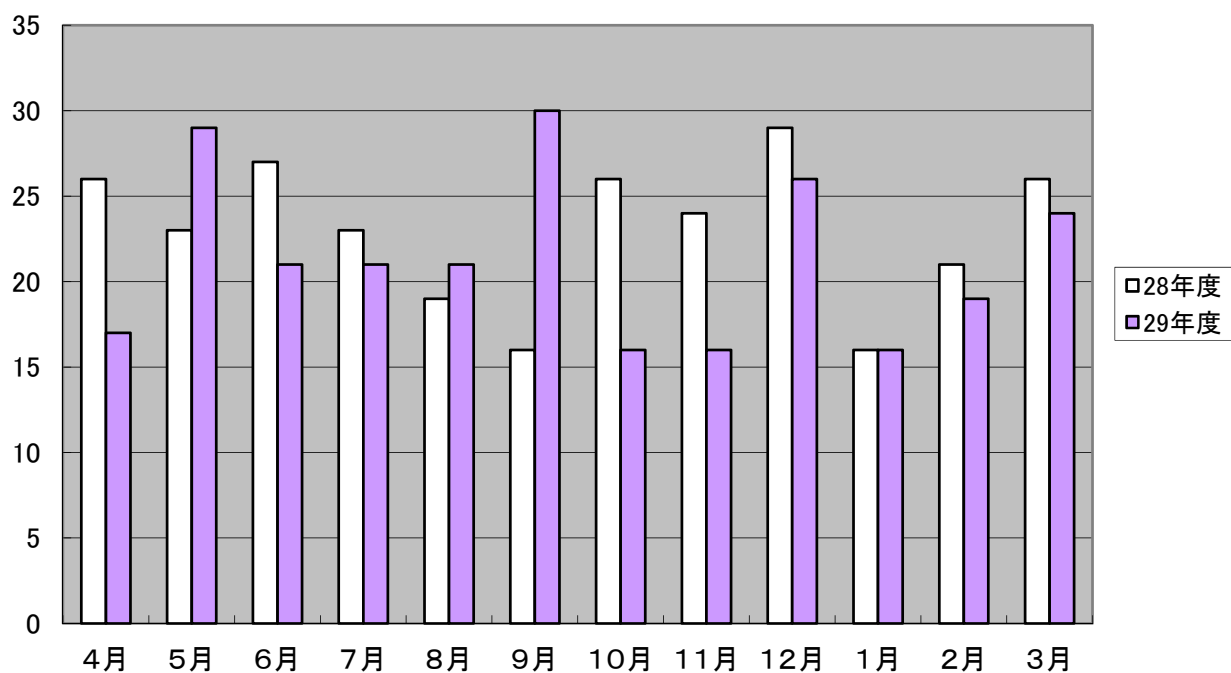
(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	24	19	26	23	15	22	25	22	23	22	20	21	262
29年度	24	29	22	23	18	24	17	26	20	20	22	14	259

②退院患者数

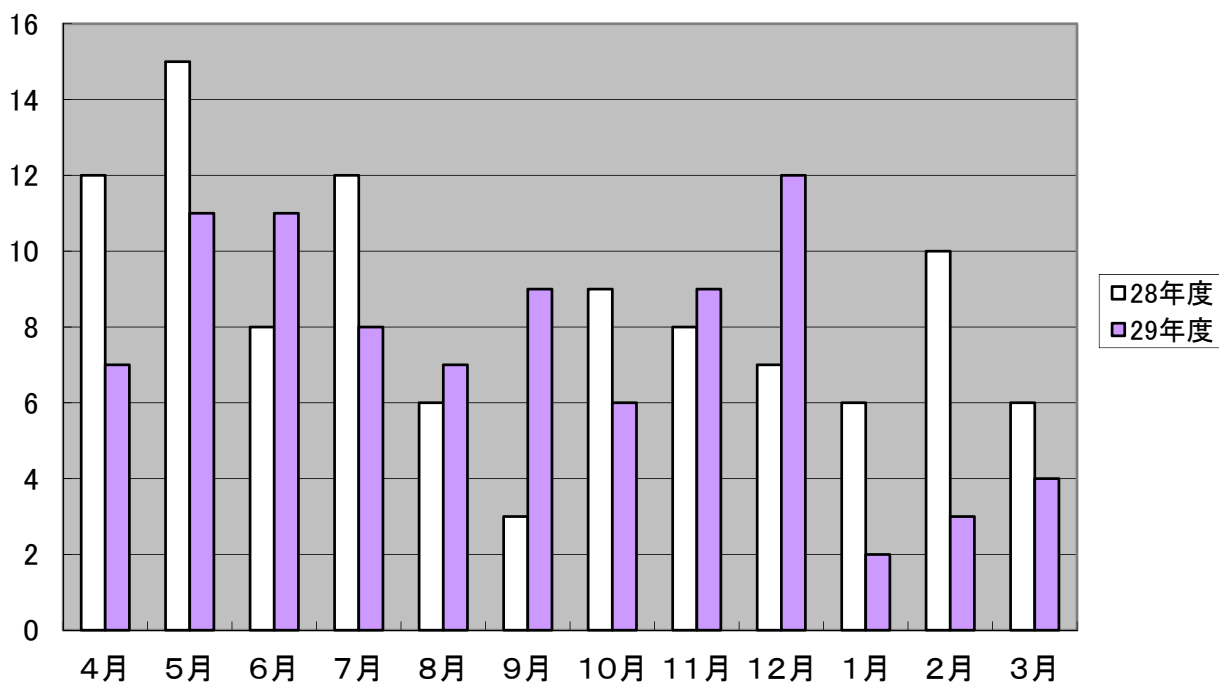
(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	26	23	27	23	19	16	26	24	29	16	21	26	276
29年度	17	29	21	21	21	30	16	16	26	16	19	24	256

③ 入院患者件数(一般)

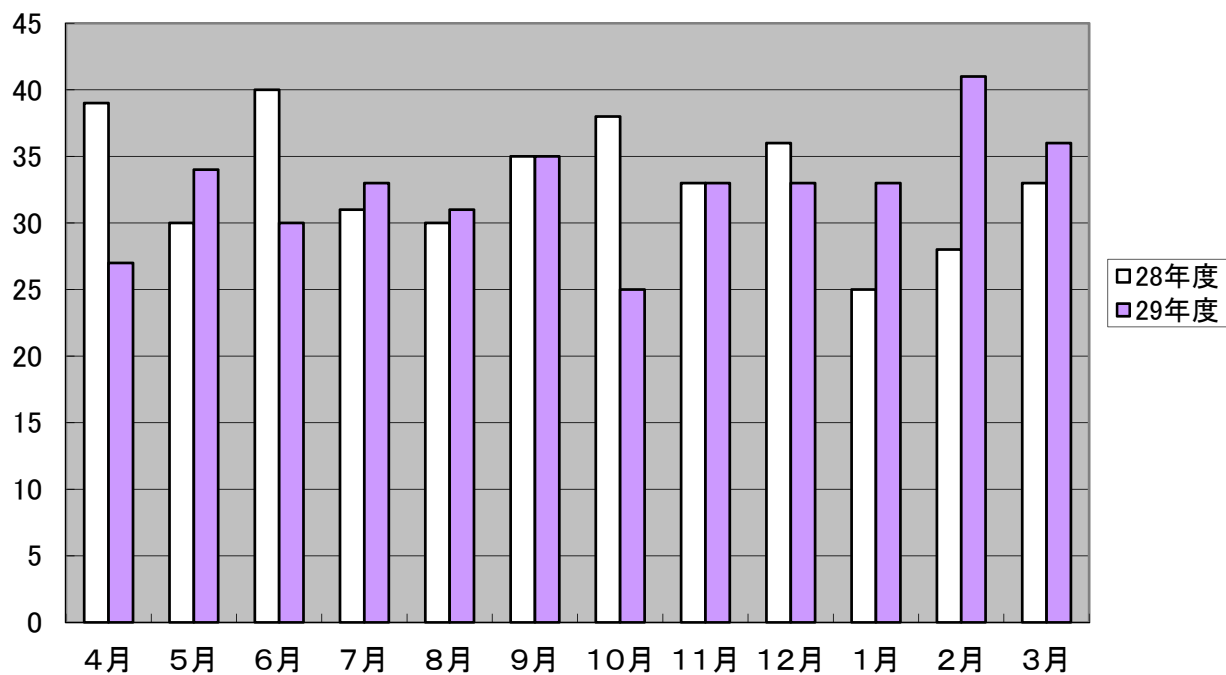
(件)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	12	15	8	12	6	3	9	8	7	6	10	6	102
29年度	7	11	11	8	7	9	6	9	12	2	3	4	89

④ 入院患者件数(透析)

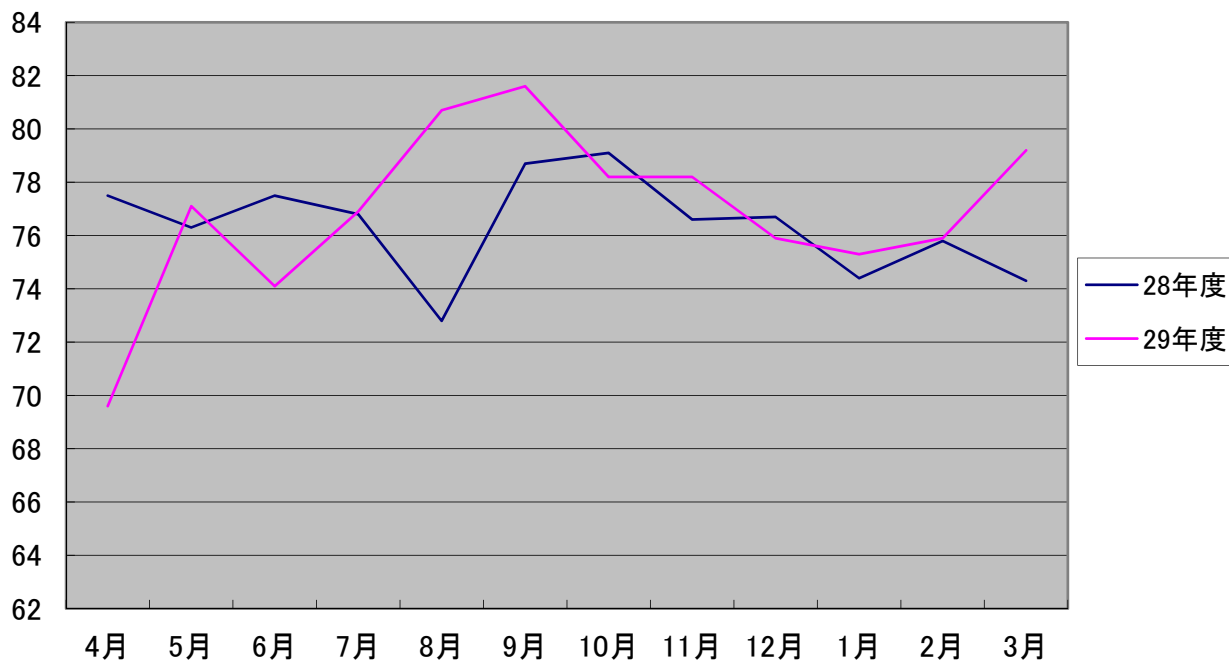
(件)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	39	30	40	31	30	35	38	33	36	25	28	33	398
29年度	27	34	30	33	31	35	25	33	33	33	41	36	391

⑤入院患者平均年齢

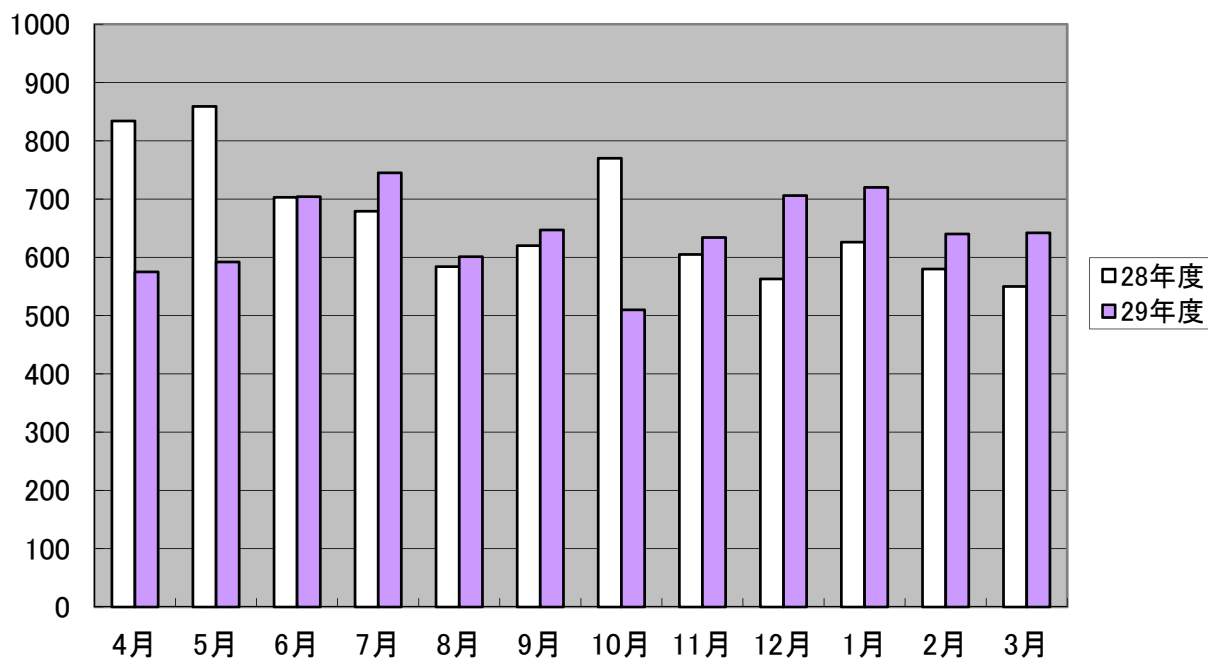
(歳)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	77.5	76.3	77.5	76.8	72.8	78.7	79.1	76.6	76.7	74.4	75.8	74.3	76.4
29年度	69.6	77.1	74.1	76.9	80.7	81.6	78.2	78.2	75.9	75.3	75.9	79.2	76.9

⑥入院日数

(日)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	834	859	703	679	584	620	770	605	563	626	580	550	664.4
29年度	575	592	704	745	601	647	510	634	706	720	640	642	643

⑦入・退院患者経路

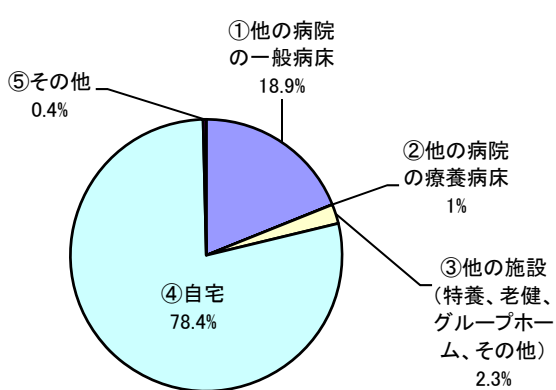
1. 入院経路（入院前の居場所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	4	4	5	8	2	2	4	9	5	4	1	1	49
②他の病院の療養病床													0
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）		2	1					2			1		6
④自宅	20	23	16	15	16	22	13	15	15	15	20	13	203
⑤その他										1			1
合 計	24	29	22	23	18	24	17	26	20	20	22	14	259

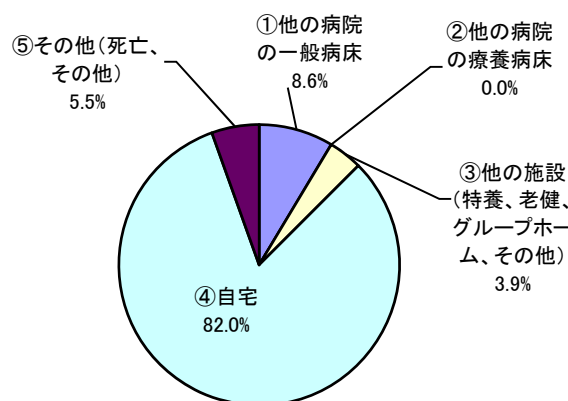
2. 退院経路（退院後の行き先）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	1	1	2	5	1	2	1	1	1	5	1	1	22
②他の病院の療養病床													0
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）	1	1		2			1		3	2			10
④自宅	14	27	17	12	18	27	11	13	22	9	18	22	210
⑤その他（死亡、その他）	1		2	2	2	1	3	2				1	14
合 計	17	29	21	21	21	30	16	16	26	16	19	24	256

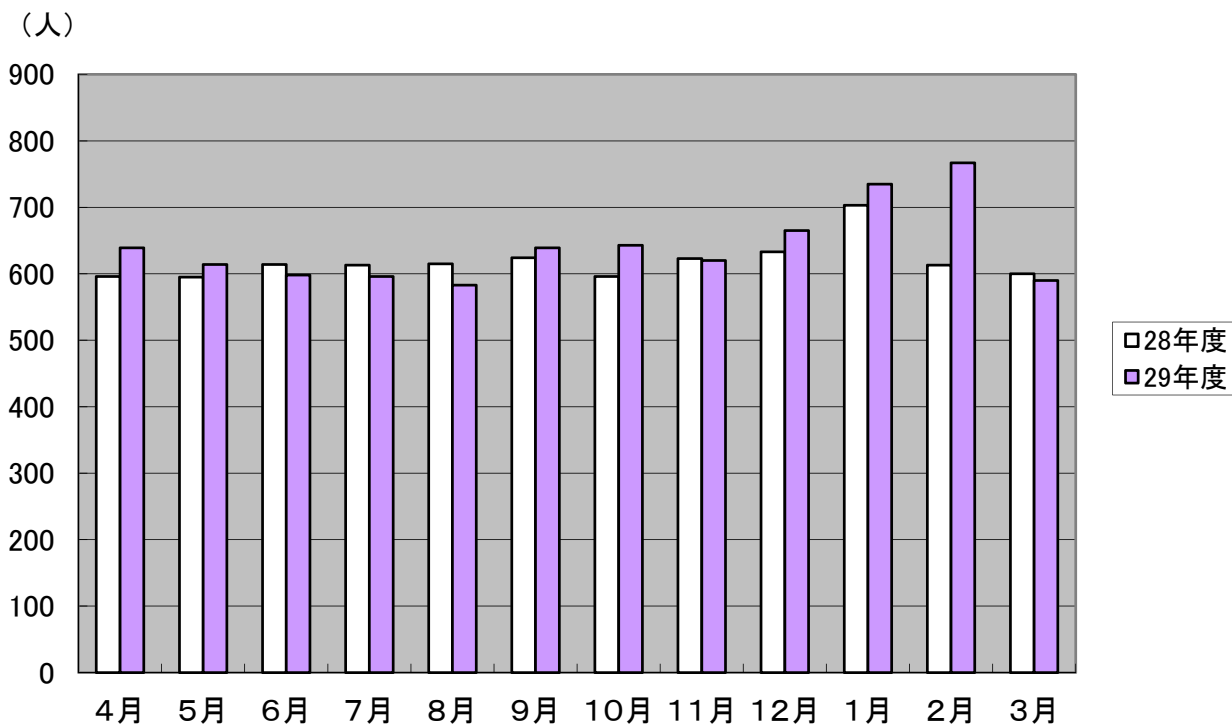
入院経路



退院経路

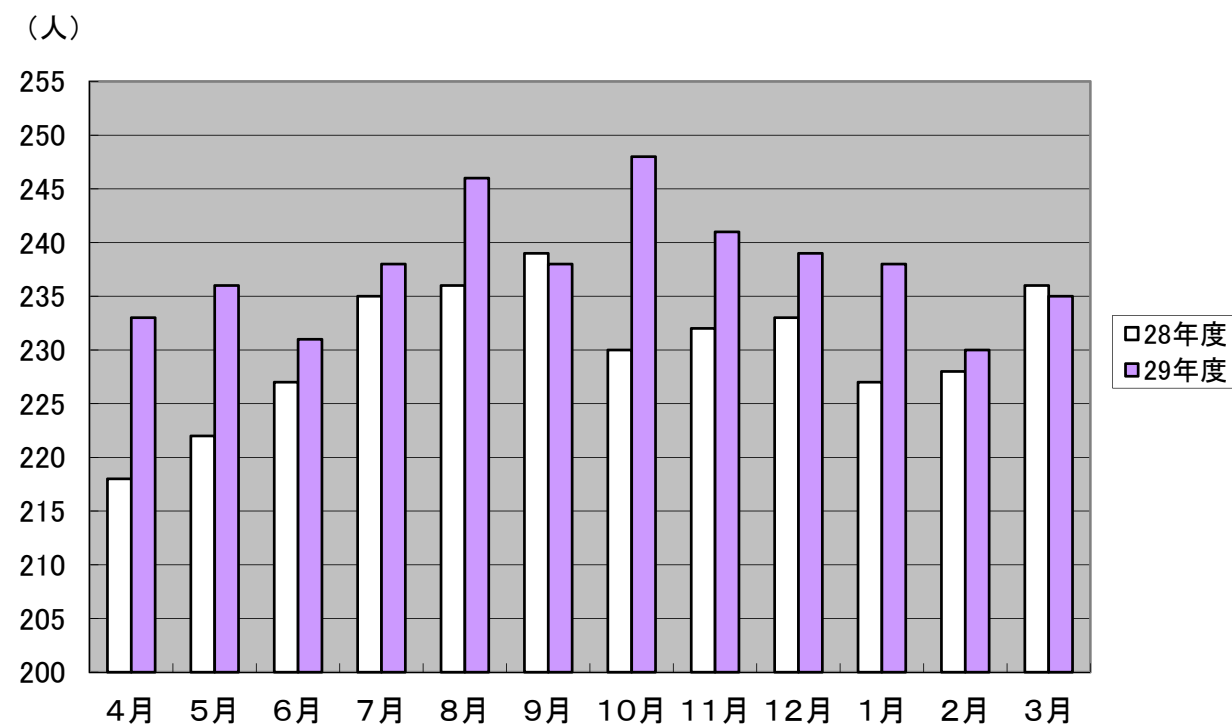


⑧ 外来患者数(一般)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	596	595	614	613	615	624	596	623	633	703	613	600	7,425
29年度	639	614	598	596	583	639	643	620	665	735	767	590	7,689

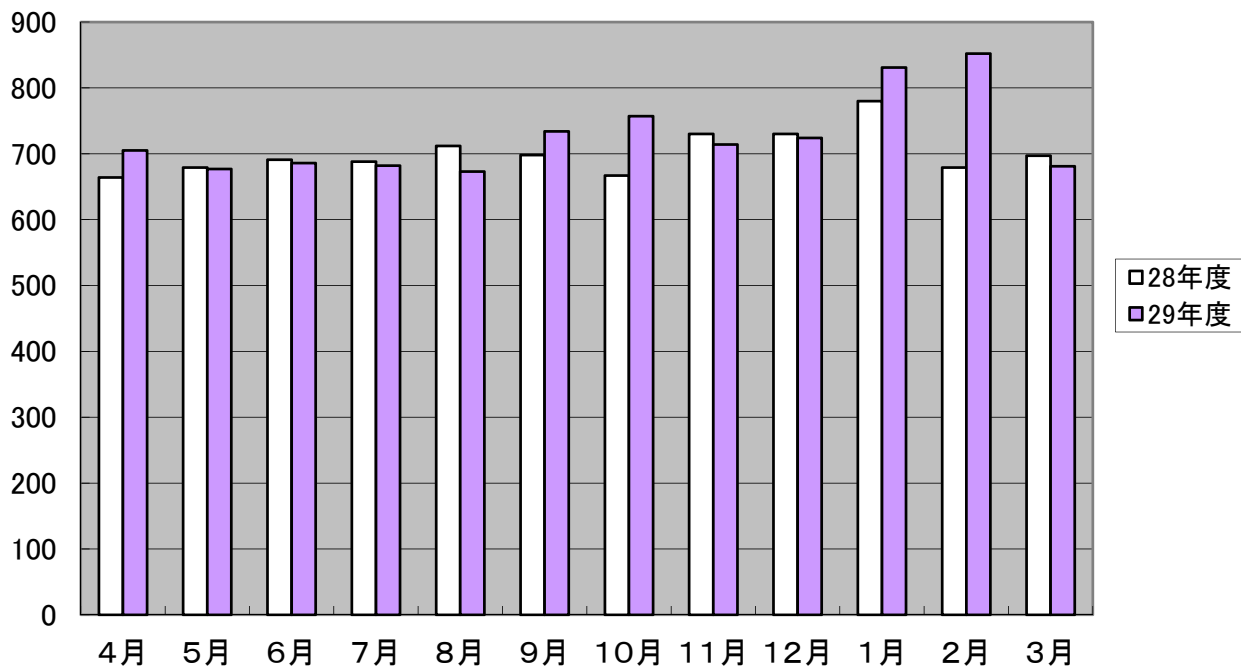
⑨ 外来患者数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	218	222	227	235	236	239	230	232	233	227	228	236	2,763
29年度	233	236	231	238	246	238	248	241	239	238	230	235	2,853

⑩外来診療回数(一般)

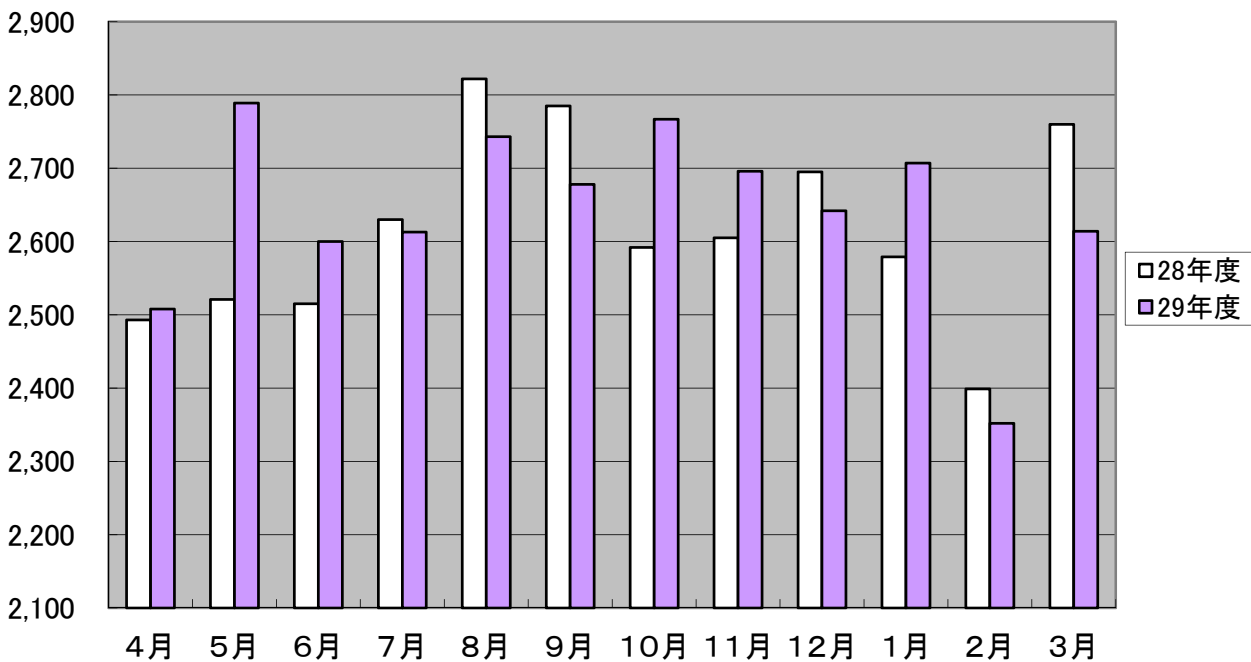
(回)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	664	679	691	688	712	698	667	730	730	780	679	697	8,415
29年度	705	677	686	682	673	734	757	714	724	831	852	681	8,716

⑪外来診療回数(透析)

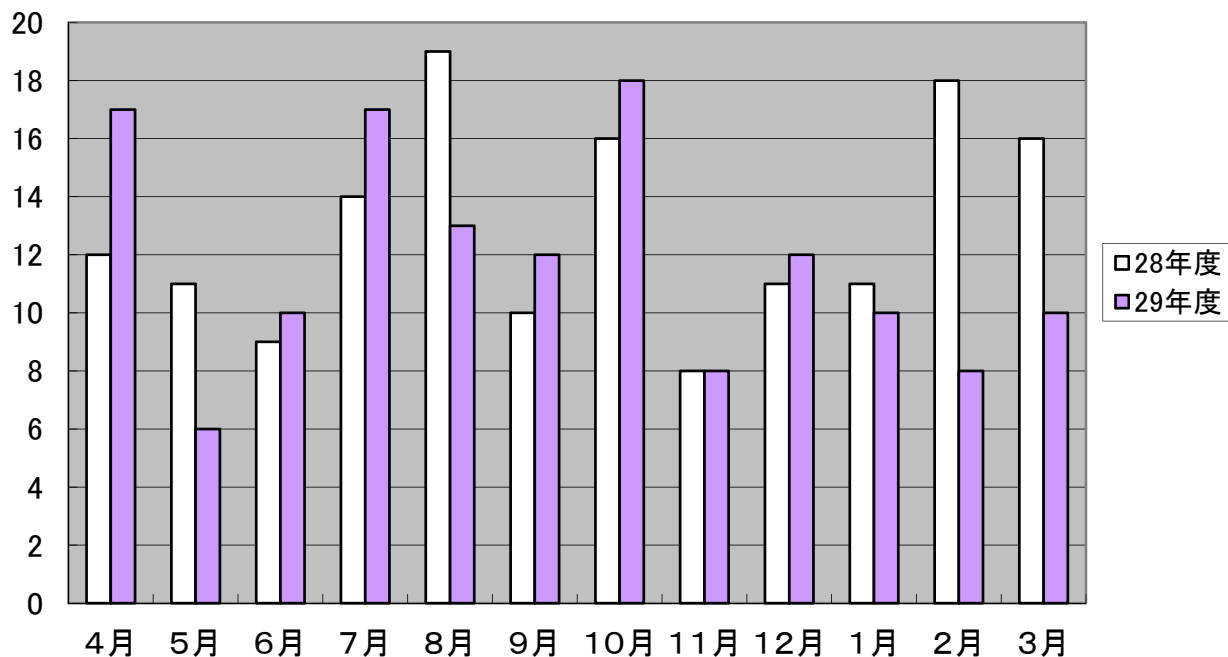
(回)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	2,493	2,521	2,515	2,630	2,822	2,785	2,592	2,605	2,695	2,579	2,399	2,760	31,396
29年度	2,508	2,789	2,600	2,613	2,743	2,678	2,767	2,696	2,642	2,707	2,352	2,614	31,709

⑫ 紹介受け入れ患者数

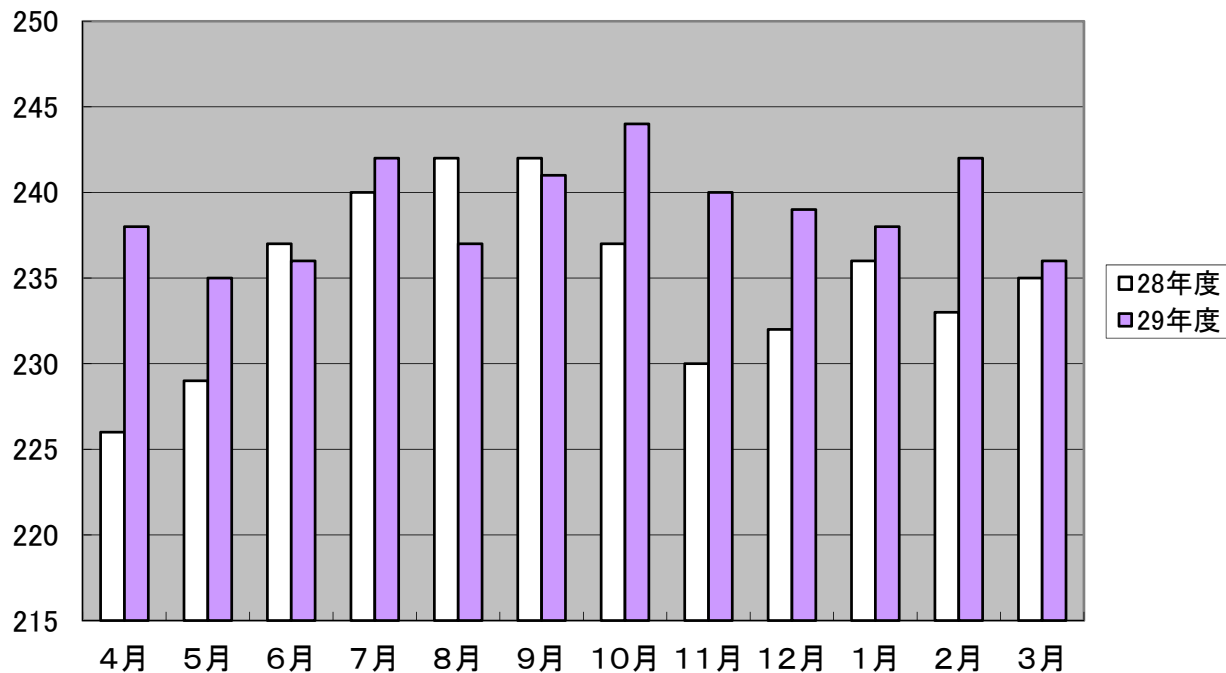
(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	12	11	9	14	19	10	16	8	11	11	18	16	155
29年度	17	6	10	17	13	12	18	8	12	10	8	10	141

⑬ 維持透析患者数

(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	226	229	237	240	242	242	237	230	232	236	233	235	2,819
29年度	238	235	236	242	237	241	244	240	239	238	242	236	2,868

⑭ 禁煙外来

	平成28年度	平成29年度
新規受診者数	10	7
うち成功者数	3	0

※これまでの総数136名受診中46名成功

⑮ 健診件数

平成29年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診	肝炎	前立腺
	国保	社保					
4月	9				45	1	
5月	9	1	15		15	2	
6月	11		6		6	4	
7月	4	1	2		7	2	
8月	5		1		17		
9月	6	2			20	1	1
10月	4	2			10	1	
11月	5	1			10		
12月	1				6		
1月	5				10		
2月	6				7	1	
3月	2				9		
小計	67	7	24	0	162	12	1
合計	74						

⑯ 臨床検査データ

平成29年度検体数

血液検査件数

項目/外・入	外来	入院	検診	合計
T-Bil	88	22	2	112
AST	4,630	315	527	5,472
ALT	4,632	315	527	5,474
ALP	3,760	250	280	4,290
GGT	3,922	253	524	4,699
LDH	3,722	257	279	4,258
TG	4,286	240	524	5,050
HDL	4,281	239	524	5,044
LDL	4,281	239	524	5,044
BUN	8,669	558	4	9,231
CRE	8,667	563	512	9,742
UA	8,582	546	70	9,198
Na	8,458	574	1	9,033
K	8,518	584	1	9,103
Cl	8,458	574	1	9,033
Ca	8,321	536	1	8,858
IP	8,298	534	1	8,833
Fe	3,438	197	0	3,635
TP	4,771	286	280	5,337
ALB	4,847	319	1	5,167
A/G	4,752	285	1	5,038
BS	1,321	53	527	1,901
HbA1c	932	15	78	1,025
GA	1,187	92	0	1,279
フェリチン	1,197	84	0	1,281
血液一般	8,926	742	455	10,123
WBC分類	76	48	23	147
CRP	277	347	0	624
PET検査	26	9	0	35
尿検査	4,172	99	438	4,709
尿蛋白	578	43	0	621
塩分摂取量	1,075	8	0	1,083
合計	139,148	9,226	6,105	154,479

超音波検査件数

部位/件数	H29.4～H30.3	合計
血管	1,067	1,067
頸部	303	303
腹部	437	437
心臓	420	420
合計	2,227	2,227

輸血血液型検査件数

部位/件数	H29.4～H30.3	合計
交差試験	32	32
抗体スクリーニング	39	39
血液型	44	44
合計	115	115

⑰ 撮影データ

撮影件数（平成29年度）

	C T	上山病院			うえやま腎クリニック		合計
		定期胸部	一般	アンギオ P T A	定期胸部	一般	
4月	20	232	191	16	77	19	555
5月	24	238	63	16	76	4	421
6月	37	236	132	14	77	0	496
7月	24	238	50	13	75	3	403
8月	29	239	45	24	80	0	417
9月	48	238	55	15	77	0	433
10月	43	238	123	19	80	6	509
11月	41	245	79	17	79	1	462
12月	47	243	78	19	77	0	464
1月	47	237	55	13	76	0	428
2月	39	236	60	11	78	0	424
3月	43	237	68	15	77	1	441
合計	442	2,857	999	192	929	34	5,453

C T撮影部位別件数（平成29年度）

頭部C T	38
胸部C T	121
腹部C T	320
頸部C T	0
下肢C T	1
合計	480

単純C T	414
造影C T	28

読影件数（平成29年度）

	件数	読影回数
4月	36	4
5月	21	3
6月	34	4
7月	32	5
8月	23	4
9月	55	5
10月	38	4
11月	40	4
12月	56	5
1月	37	4
2月	44	4
3月	52	5
合計	468	51

⑱ 上山病院 臨床工学科データ

平成29年度 上山病院生菌検査結果一覧表

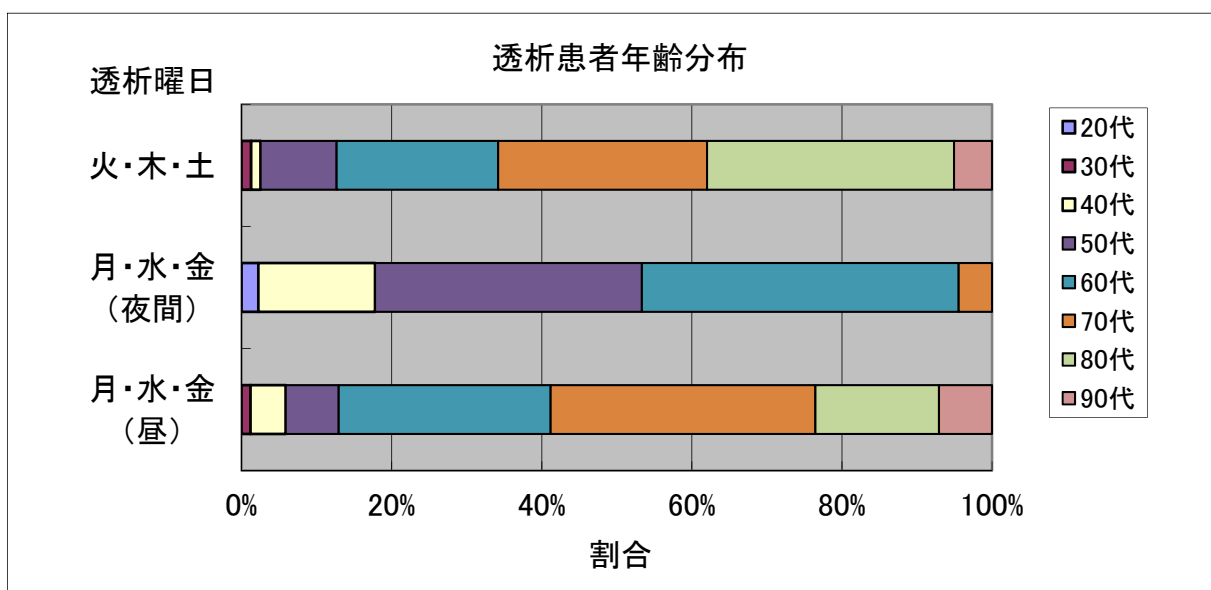
測定場所		測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)	
項目	配管および装置名				
2F処理水	2F処理水	MIZ754QC-H(RO膜直後)	9月5日	0.06	100 未満
2F供給装置 後透析液 1系統	モルセップ(1-①系統)	ET-5E	8月21日	0.00	
	モルセップ(1-②系統)	ET-5E	8月21日	0.00	
2F供給装置 後透析液 2系統	モルセップ(2-①系統)	ET-5E	9月5日	0.00	
	モルセップ(2-②系統)	ET-5E	9月5日	0.00	
2F 透析 監視 装置 (カプ ラ後 透析 液)	1	DCS-100NX	4月3日	0.00	
	2	DCS-27	4月3日	0.00	
	3	DCS-27	4月3日	0.00	
	4	DCS-27	4月3日	0.00	
	5	DCS-27	4月10日	0.00	
	6	DCS-27	4月10日	0.00	
	8	DCS-27	4月10日	0.00	
	9	DCS-100NX	4月10日	0.00	
	10	DCS-100NX	4月17日	0.00	
	11	DCS-100NX	4月17日	0.00	
	12	DCS-100NX	4月17日	0.00	
	13	DCS-100NX	4月17日	0.00	
	14	DCS-100NX	5月1日	0.00	
	15	DCS-27	5月1日	0.00	
	16	DCS-27	5月1日	0.00	
	17	DCS-27	5月1日	0.00	
	18	DCS-27	5月8日	0.00	
	31	DCS-100NX	5月8日	0.00	
	24	DCS-100NX	5月8日	0.00	
	21	DCS-100NX	5月8日	0.00	
	22	DCS-100NX	5月15日	0.00	
	23	DCS-100NX	5月15日	0.00	
	20	DCS-100NX	5月15日	0.00	
	26	DCS-27	5月15日	0.00	
	35	DCS-27	5月22日	0.00	
	27	DCS-27	5月22日	0.00	
	28	DCS-27	5月22日	0.00	
	29	DCS-27	5月22日	0.00	
	30	DCS-100NX	6月5日	0.00	
	19	DCS-100NX	6月5日	0.00	
	32	DCS-100NX	6月5日	0.00	
	33	DCS-100NX	6月5日	0.00	
34	DCS-100NX	6月12日	0.00		
25	DCS-27	6月12日	0.00		
135	TR-3300M	6月12日	0.00		
136	TR-3300M	6月12日	0.00		
137	TR-3300M	6月19日	0.00		
138	TR-3300M	6月19日	0.00		
139	TR-3300M	6月19日	0.00		
140	TR-3300M	6月19日	0.00		
141	TR-3300M	7月3日	0.00		
142	TR-3300M	7月3日	0.00		
44	DCS-100NX	7月3日	0.00		

平成29年度 上山病院生菌検査結果一覧表

項目	測定場所		測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)
	配管および装置名				
2F 透析 監視 装置 (カプ ラ後透 析液)	45	TR-3300M	7月3日	0.00	1未満
	46	TR-3300M	7月10日	0.00	
	47	TR-3300M	7月10日	0.00	
	48	TR-3300M	7月10日	0.00	
	49	DCS-100NX	7月10日	0.00	
	50	TR-3300M	7月24日	0.00	
	51	TR-3300M	7月24日	0.00	
	52	TR-3300M	7月24日	0.00	
	143	TR-3300M	7月24日	0.00	
	54	TR-3300M	9月5日	0.00	
	144	TR-3300M	9月5日	0.00	
	145	TR-3300M	9月5日	0.00	
	146	TR-3300M	9月5日	0.00	
	147	TR-3300M	10月3日	0.00	
	148	TR-3300M	10月3日	0.00	
	149	TR-3300M	10月3日	0.00	
	150	TR-3300M	10月3日	0.00	
	151	TR-3300M	10月3日	0.00	
	152	TR-3300M	10月3日	0.00	
	153	TR-3300M	10月10日	0.00	
	70	TR-3300M	10月10日	0.00	
	66	DCS-27	10月10日	0.00	
	67	DCS-27	10月10日	0.00	
	68	DCS-27	10月10日	0.00	
	69	DCS-27	10月10日	0.00	
	154	DCS-27	11月9日	0.00	
71	DCS-27	11月9日	0.00		
72	DCS-27	11月9日	0.00		
73	DCS-27	11月9日	0.00		
74	DCS-27	11月9日	0.00		
82	DCS-27	11月9日	0.00		
3F処理水	3F処理水		8月7日	0.00	100未満
3F供給装置 後透析液	3F供給装置後透析液	RF後	8月7日	0.00	1未満
3F 透析 監視 装置 (カプ ラ後透 析液)	76	DCS-27	1月4日	0.00	
	77	DCS-27	1月4日	0.00	
	78	DCS-27	1月4日	0.00	
	53	DCS-27	1月4日	0.00	
	55	DCS-27	1月4日	0.00	
	56	DCS-27	1月4日	0.00	
	57	DCS-27	1月4日	0.00	
	83	TR-3300M	1月4日	0.00	
	84	TR-3300M	2月1日	0.00	
	58	DCS-27	2月1日	0.00	
	59	DCS-27	2月1日	0.00	
	60	DCS-27	2月1日	0.00	
	61	DCS-27	2月1日	0.00	
	62	DCS-27	2月1日	0.00	
	63	DCS-27	3月23日	0.00	
	64	DCS-27	3月23日	0.00	
	65	DCS-27	3月23日	0.00	
	93	DBG-02	3月23日	0.0	
個人用水処理装置	MH500CX		3月22日	0.00	100未満

⑱ 透析患者年齢分布（平成30年3月末現在） ※3階透析室も含む

	月・水・金 (昼)	月・水・金 (夜間)	火・木・土	合計
20代		1	0	1
30代	1		1	2
40代	4	7	1	12
50代	6	16	8	30
60代	24	19	17	60
70代	30	2	22	54
80代	14		26	40
90代	6		4	10
合計	85	45	79	209



⑳ 給食状況（平成29年度）

ア 患者給食数

（単位：食、％）

項目		延給食数	一日平均給食数	職種別構成比	延給食数 対前年度比
一般食	常食	1,617	4.4	7.2	171.3
	流動食	0	0	0	0
特別食	腎臓病	19,361	53.0	86.6	94.4
	心臓病	398	1.1	1.8	98.0
	糖尿病	0	0.0	0.0	0
	経管栄養	970	2.7	4.3	102.9
合計		22,346	61.2	100.0	97.8

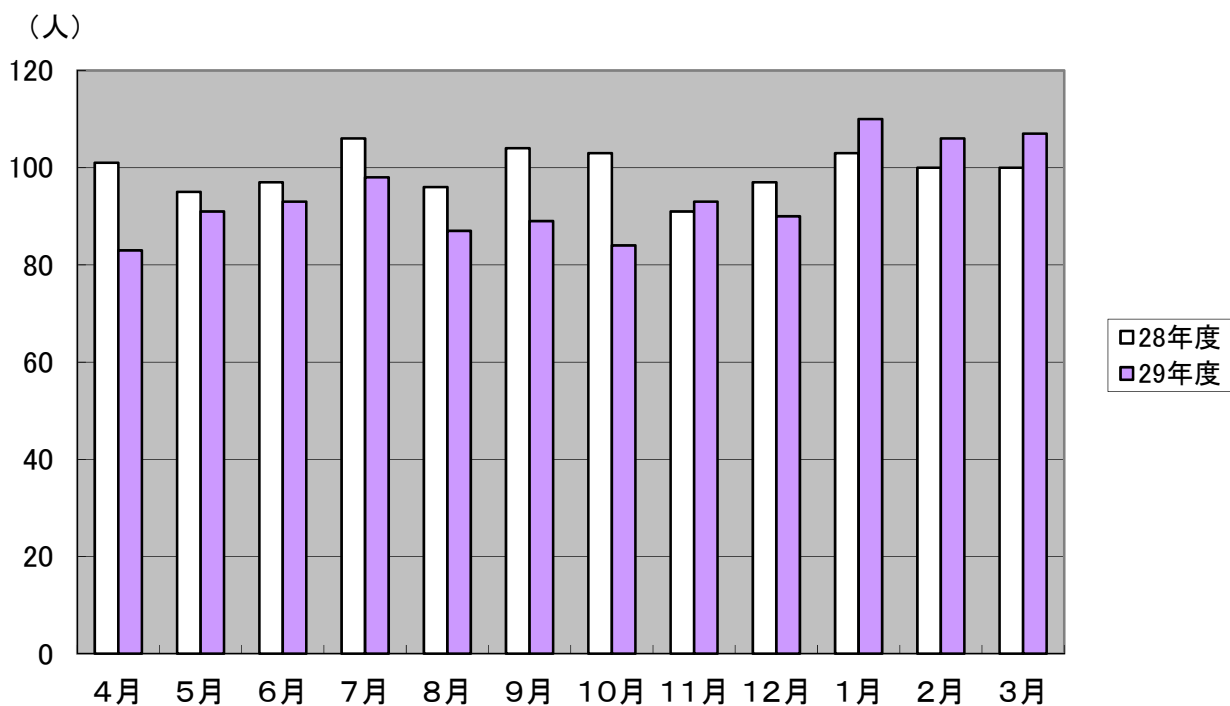
イ 個人栄養指導件数

（単位：件、％）

区分	項目	件数	対前年度比
	外来患者	134	110.7
	入院患者	58	76.3
	合計	192	97.5

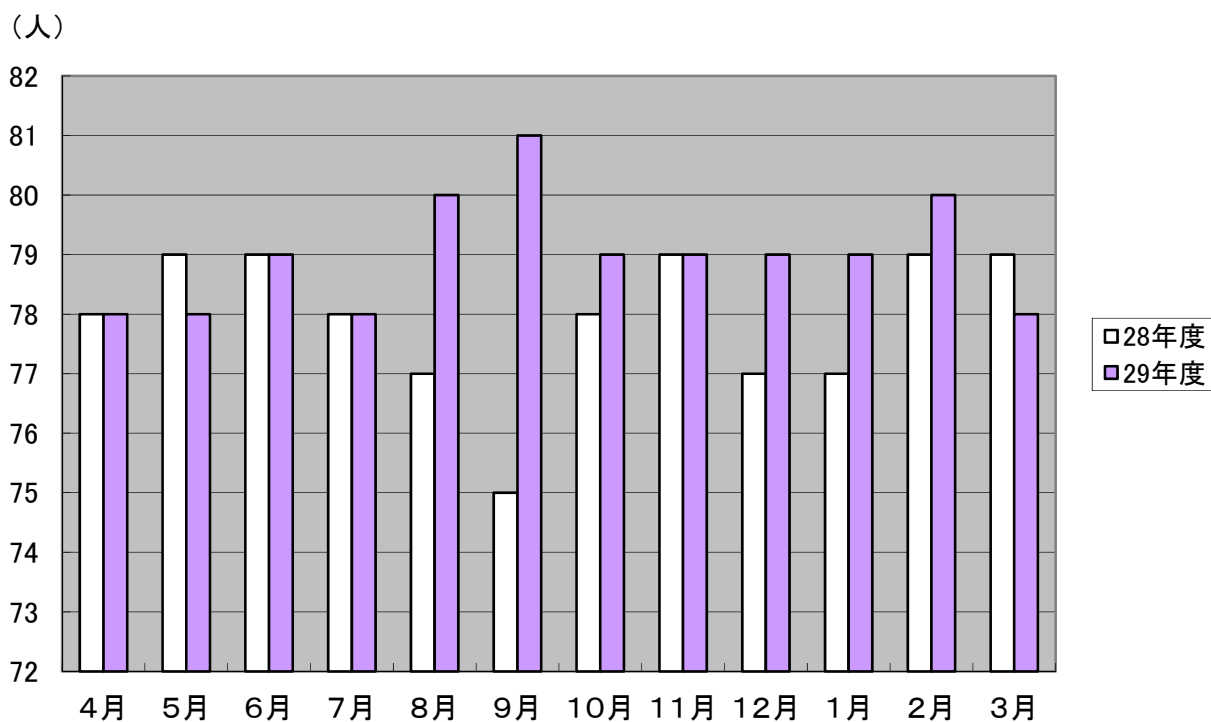
(2)患者データ【うえやま腎クリニック】

① 外来患者数(一般)



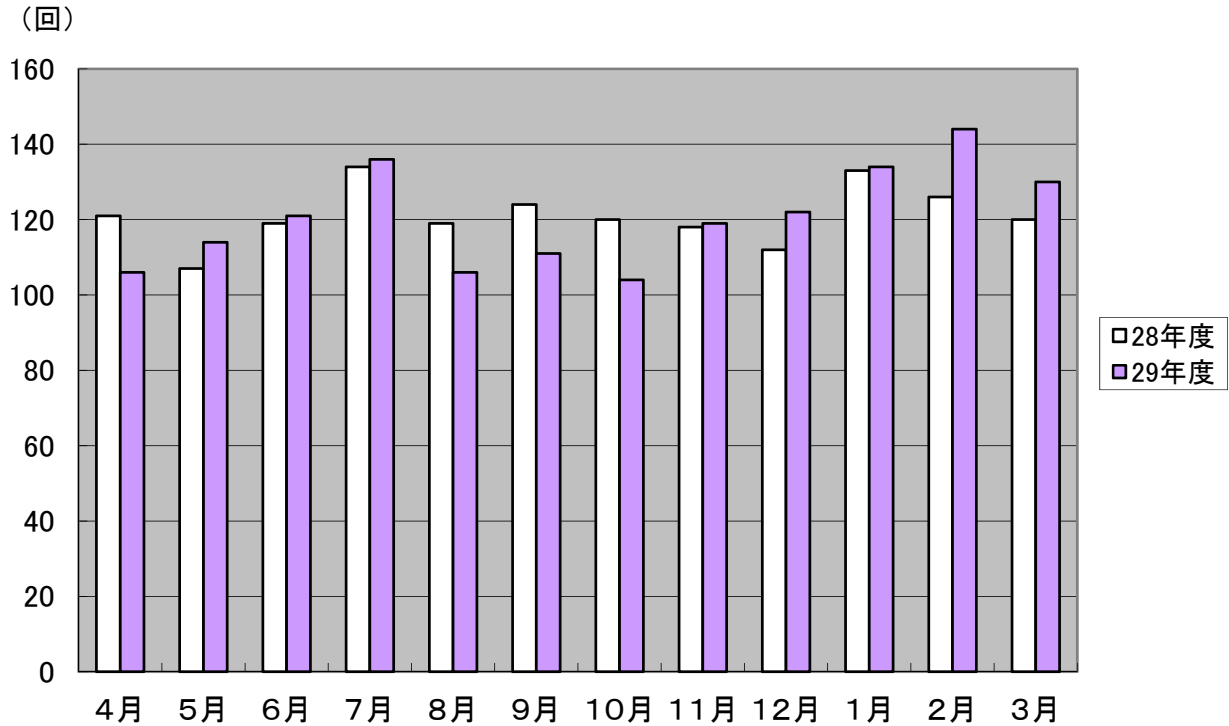
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	101	95	97	106	96	104	103	91	97	103	100	100	1,193
29年度	83	91	93	98	87	89	84	93	90	110	106	107	1,131

② 外来患者数(透析)



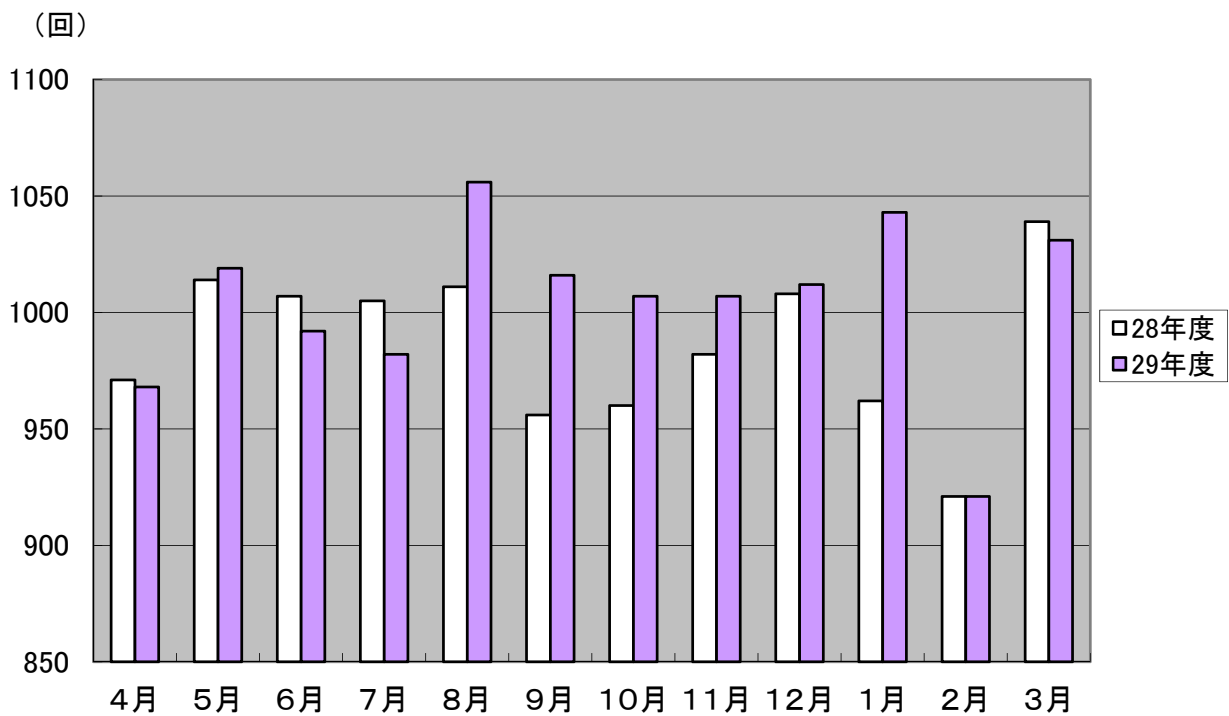
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	78	79	79	78	77	75	78	79	77	77	79	79	935
29年度	78	78	79	78	80	81	79	79	79	79	80	78	948

③外来診療回数(一般)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	121	107	119	134	119	124	120	118	112	133	126	120	1,453
29年度	106	114	121	136	106	111	104	119	122	134	144	130	1,447

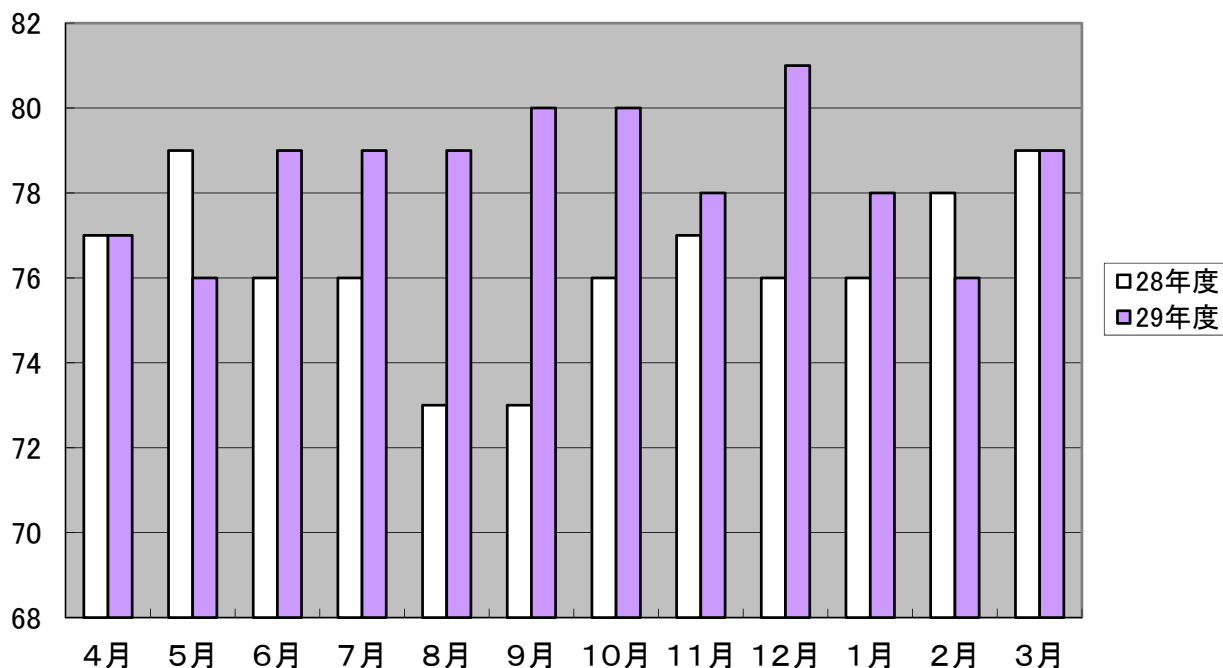
④外来診療回数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	971	1014	1007	1005	1011	956	960	982	1008	962	921	1039	11,836
29年度	968	1019	992	982	1056	1016	1007	1007	1012	1043	921	1031	12,054

⑤維持透析患者数

(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	77	79	76	76	73	73	76	77	76	76	78	79	916
29年度	77	76	79	79	79	80	80	78	81	78	76	79	942

⑥ 健診件数

平成29年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診	肝炎	前立腺
	国保	社保					
4月	4				0	2	
5月		1			0		
6月	5		1		0	2	1
7月	3				0	2	
8月	1				0	1	
9月	2				0		
10月	1				0		
11月	3				0	1	
12月	2				0	1	
1月	5				0		
2月	3				0	1	1
3月	3				0		
小計	32	1	1	0	0	10	2
合計	33						

⑦ うえやま腎クリニック 臨床工学科データ
 平成29年度うえやま腎クリニック 生菌検査結果

ベッドNo.	サンプリング場所	機種名	測定日	測定値(CFU/mL)	測定値(CFU/50mL)	管理基準値(CFU/mL)
	処理水	MIZ752C-H	2月19日	0.5	26	100未満
	UF(RO配管)		2月19日	0.04	2	
	A剤自動溶解装置	A-HI	3月5日	0.0	0	
	B剤自動溶解装置	DRY-01	3月5日	0.0	0	
	多人数供給装置	DAB-50E	3月12日	0.0	0	
	モルセップ(A)	ET-5E	3月12日	0.0	0	
	モルセップ(B)	ET-5E	3月12日	0.0	0	
1	98	DCS-27	4月3日	0.0	0	
2	103	DCS-27	4月3日	0.0	0	
3	104	DCS-27	5月8日	0.0	0	
4	105	DCS-27	5月8日	0.0	0	
5	106	DCS-27	6月5日	0.0	0	
6	107	DCS-27	7月10日	0.0	0	
7	108	DCS-27	7月10日	0.0	0	
8	109	DCS-27	8月7日	0.0	0	
9	110	DCS-27	8月7日	0.0	0	
10	111	DCS-27	9月4日	0.0	0	
11	36	DCS-100NX	9月4日	0.0	0	
12	37	DCS-100NX	10月2日	0.0	0	
13	38	DCS-100NX	10月2日	0.0	0	
14	112	DCS-27	11月6日	0.0	0	
15	113	DCS-27	11月6日	0.0	0	
16	39	DCS-100NX	12月11日	0.0	0	
17	40	DCS-100NX	12月11日	0.0	0	
18	41	DCS-100NX	1月15日	0.0	0	1未満
19	42	DCS-100NX	1月15日	0.0	0	
20	43	DCS-100NX	1月15日	0.0	0	
21	114	DCS-100NX	4月17日	0.0	0	
22	115	DCS-100NX	4月17日	0.0	0	
23	116	DCS-100NX	5月22日	0.0	0	
24	117	DCS-100NX	5月22日	0.0	0	
25	118	DCS-100NX	6月19日	0.0	0	
26	119	DCS-100NX	6月19日	0.0	0	
27	120	DCS-100NX	7月24日	0.0	0	
28	121	DCS-100NX	7月24日	0.0	0	
29	122	DCS-100NX	8月21日	0.0	0	
30	123	DCS-100NX	8月21日	0.0	0	
31	124	DCS-27	9月11日	0.0	0	
32	125	DCS-100NX	9月11日	0.0	0	
33	126	DCS-100NX	10月16日	0.0	0	
34	127	DCS-27	10月16日	0.0	0	
35	128	DCS-27	11月20日	0.0	0	
36	129	DCS-27	11月20日	0.0	0	
37	130	DCS-27	1月15日	0.0	0	
38	131	DCS-27	1月15日	0.0	0	
39	132	DCS-27	2月5日	0.0	0	
40	133	DCS-27	2月5日	0.0	0	
(予備)	96	DCS-27	6月5日	0.0	0	

(3)平成29年度腎愛会アンケート集計表

①平成29年度 上山病院退院患者 満足度アンケート集計

全体 256

回答者数 = 127

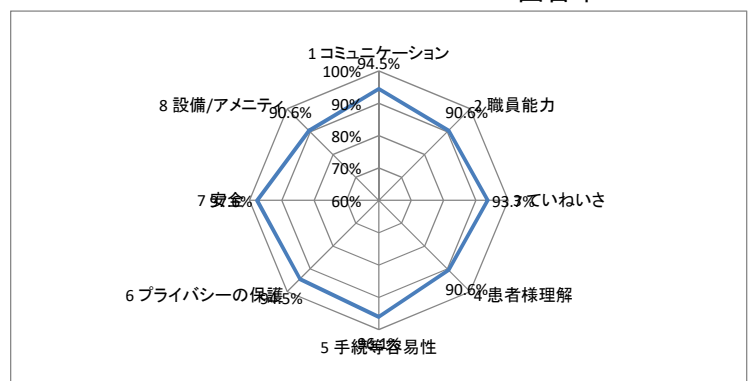
対象者数 = 242

S = 14

領域	No.	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	120	94.5%	100.0%
			2. いいえ	2	1.6%	
			3. わからない	1	0.8%	
			無回答	4	3.1%	
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	115	90.6%	100.0%
			2. いいえ	2	1.6%	
			3. わからない	7	5.5%	
			無回答	3	2.4%	
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	119	93.7%	100.0%
			2. いいえ	2	1.6%	
			3. わからない	2	1.6%	
			無回答	4	3.1%	
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	115	90.6%	100.0%
			2. いいえ	3	2.4%	
			3. わからない	5	3.9%	
			無回答	4	3.1%	
5	手続等容易性	入院時のさまざまな手続きはうまくいきましたか	1. はい	122	96.1%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	5	3.9%	
6	プライバシーの保護	入院中のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	120	94.5%	100.0%
			2. いいえ	1	0.8%	
			3. わからない	3	2.4%	
			無回答	3	2.4%	
7	安全	入院中は安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	124	97.6%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	3	2.4%	
8	設備/アメニティ	入院中の環境は快適でしたか	1. はい	115	90.6%	100.0%
			2. いいえ	3	2.4%	
			3. わからない	4	3.1%	
			無回答	5	3.9%	

回答率 = 52.5%

	項目	「①はい」の人数
1	コミュニケーション	94.5%
2	職員能力	90.6%
3	ていねいさ	93.7%
4	患者様理解	90.6%
5	手続等容易性	96.1%
6	プライバシーの保護	94.5%
7	安全	97.6%
8	設備/アメニティ	90.6%



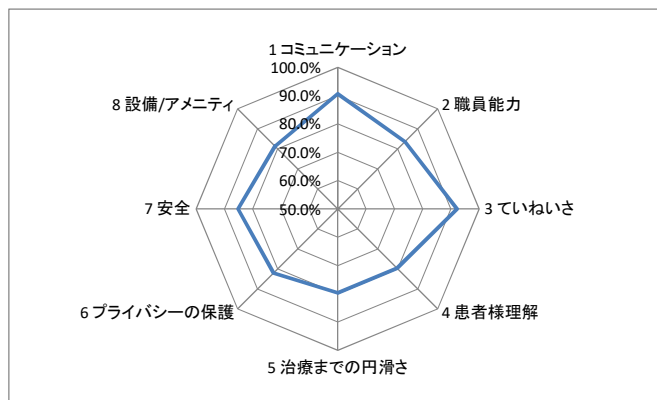
回答者数 = 128

対象者数 = 196

No.	領域	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	選択肢	116	90.6%	100.0%
			2. いいえ	1	0.8%	
			3. わからない	5	3.9%	
			無回答	6	4.7%	
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	107	83.6%	100.0%
			2. いいえ	4	3.1%	
			3. わからない	15	11.7%	
			無回答	2	1.6%	
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	118	92.2%	100.0%
			2. いいえ	4	3.1%	
			3. わからない	4	3.1%	
			無回答	2	1.6%	
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしたか	1. はい	102	79.7%	100.0%
			2. いいえ	7	5.5%	
			3. わからない	16	12.5%	
			無回答	3	2.3%	
5	治療までの円滑さ	来院されてから、スムーズに透析を開始することができますか	1. はい	102	79.7%	100.0%
			2. いいえ	15	11.7%	
			3. わからない	5	3.9%	
			無回答	6	4.7%	
6	プライバシーの保護	院内のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	105	82.0%	100.0%
			2. いいえ	5	3.9%	
			3. わからない	14	10.9%	
			無回答	4	3.1%	
7	安全	院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	109	85.2%	100.0%
			2. いいえ	5	3.9%	
			3. わからない	10	7.8%	
			無回答	4	3.1%	
8	設備/アメニティ	院内の環境は快適でしたか	1. はい	104	81.3%	100.0%
			2. いいえ	10	7.8%	
			3. わからない	11	8.6%	
			無回答	3	2.3%	

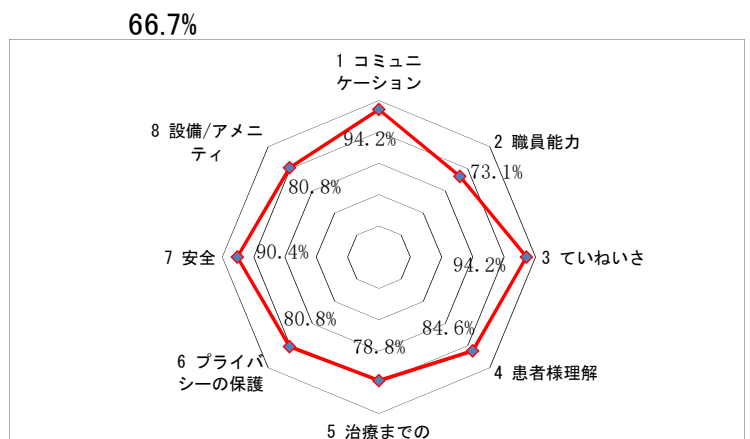
回答率 = 65.3%

	項目	「①はい」の人数
1	コミュニケーション	90.6%
2	職員能力	83.6%
3	ていねいさ	92.2%
4	患者様理解	79.7%
5	治療までの円滑さ	79.7%
6	プライバシーの保護	82.0%
7	安全	85.2%
8	設備/アメニティ	81.3%



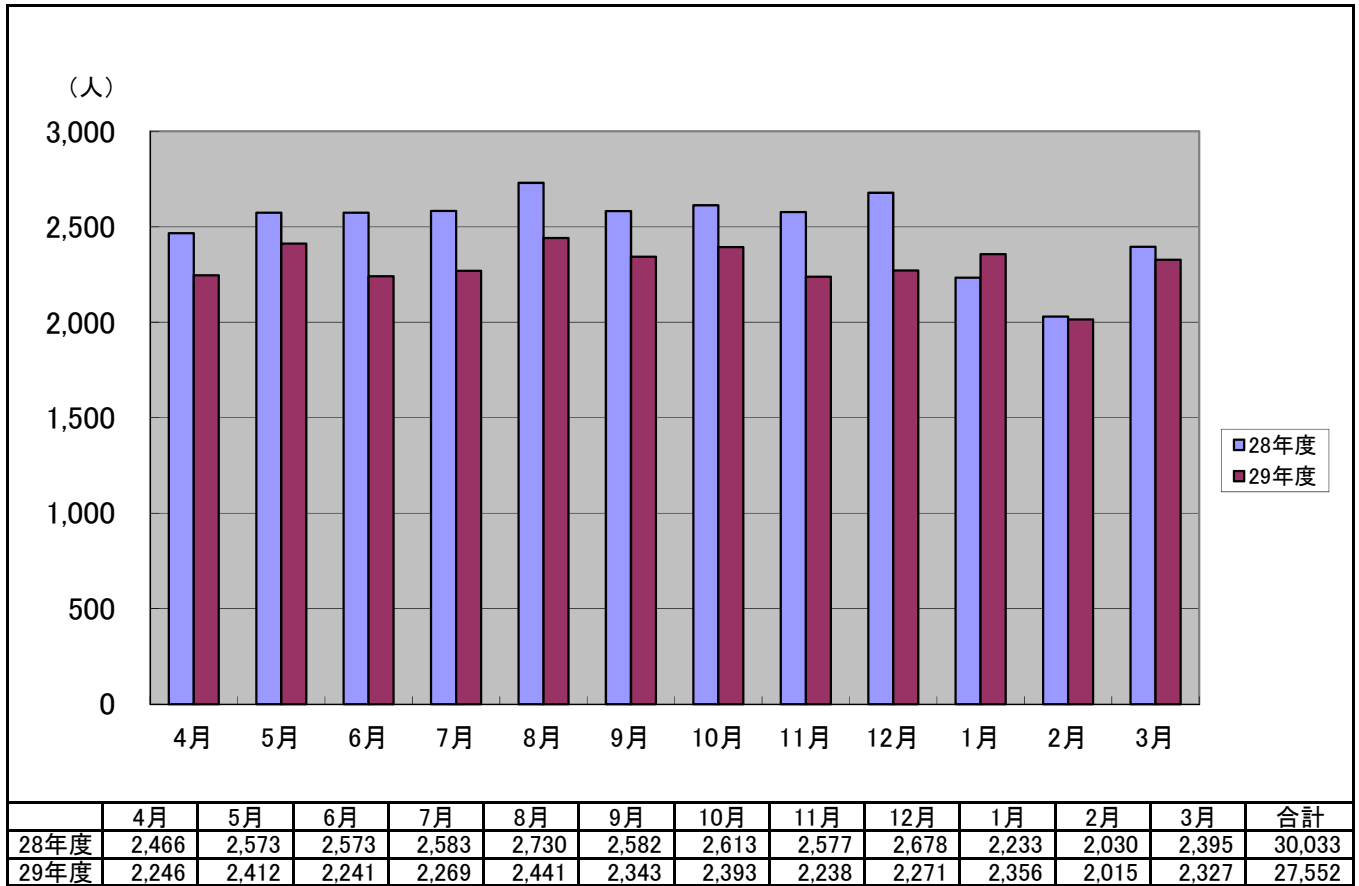
		回答者数 =	42	対象者数 =	78	
領域	No.	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	49	94.2%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	3	5.8%	
			無回答	0	0.0%	
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	38	73.1%	100.0%
			2. いいえ	1	1.9%	
			3. わからない	12	23.1%	
			無回答	1	1.9%	
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	49	94.2%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	3	5.8%	
			無回答	0	0.0%	
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	44	84.6%	100.0%
			2. いいえ	1	1.9%	
			3. わからない	7	13.5%	
			無回答	0	0.0%	
5	治療までの円滑さ	来院されてから、スムーズに透析を開始することができますか	1. はい	41	78.8%	100.0%
			2. いいえ	4	7.7%	
			3. わからない	7	13.5%	
			無回答	0	0.0%	
6	プライバシーの保護	院内のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	42	80.8%	100.0%
			2. いいえ	2	3.8%	
			3. わからない	8	15.4%	
			無回答	0	0.0%	
7	安全	院内では安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	47	90.4%	100.0%
			2. いいえ	1	1.9%	
			3. わからない	4	7.7%	
			無回答	0	0.0%	
8	設備/アメニティ	院内の環境は快適でしたか	1. はい	42	80.8%	100.0%
			2. いいえ	5	9.6%	
			3. わからない	5	9.6%	
			無回答	0	0.0%	

		回答率 =
項目		「①はい」の率
1	コミュニケーション	94.2%
2	職員能力	73.1%
3	ていねいさ	94.2%
4	患者様理解	84.6%
5	治療までの円滑さ	78.8%
6	プライバシーの保護	80.8%
7	安全	90.4%
8	設備/アメニティ	80.8%

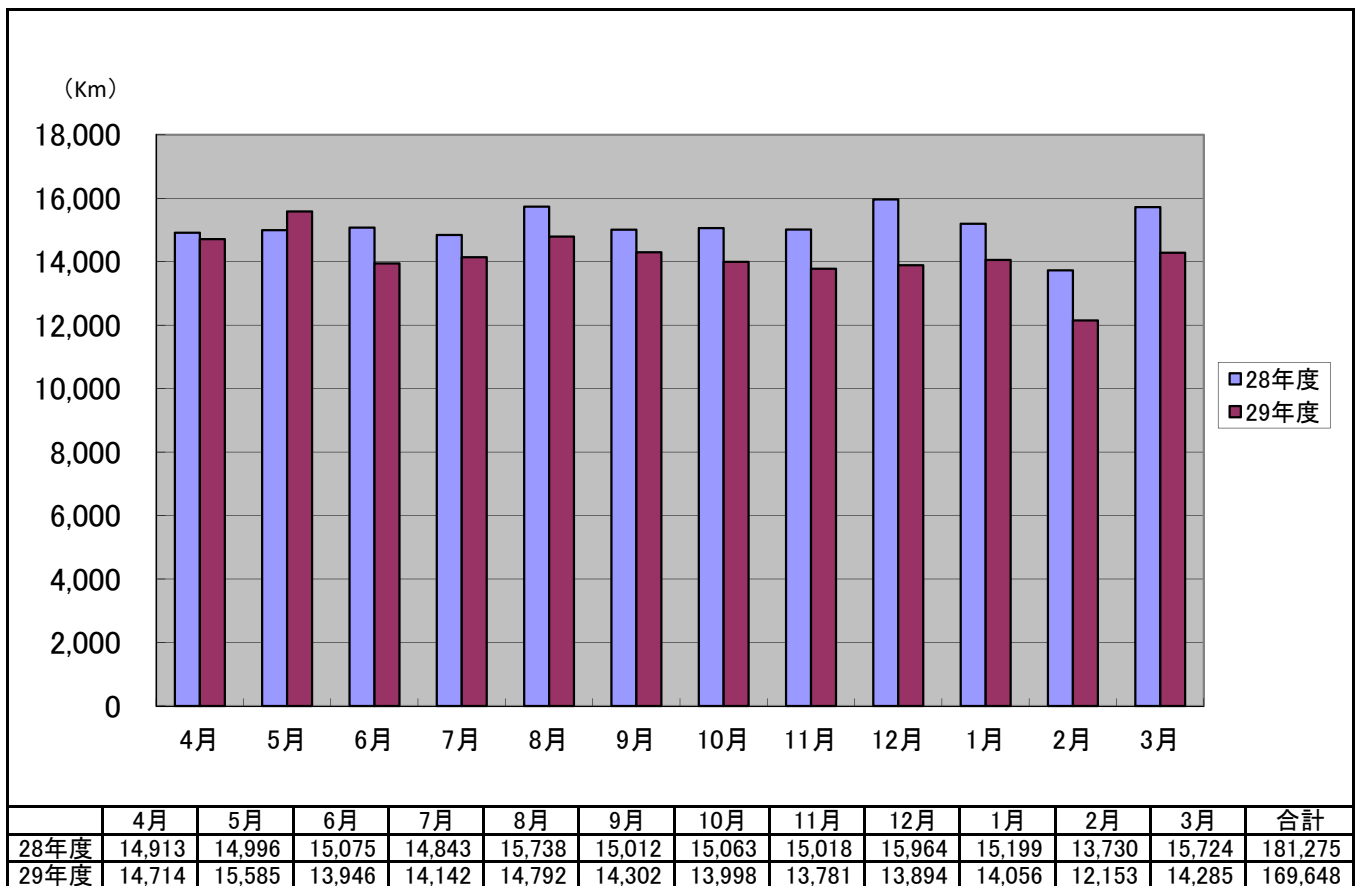


送迎データ

①送迎延患者数



②送迎走行距離



(5) 職員データ

①職員数（平成30年3月31日現在）

項目		HP	CL	光陽	本部	USK	計
所属法人	1 腎愛会	103	22	14	25	0	164
	2 USK企画	16	2	0	0	8	26
	計	119	24	14	25	8	190
勤務状況	1 常勤	79	6	10	20	6	121
	2 日勤	12	8	2			22
	3 短時間勤務	0	3		3		6
	4 契約職員	1		1			2
	5 嘱託職員	3	2	1			6
	6 非常勤	18	5		2	2	27
	8 休職	6					6
	計	119	24	14	25	8	190
性別	1 女性	93	22	11	11	4	141
	2 男性	26	2	3	14	4	49
	計	119	24	14	25	8	190
資格・職種	1 医師	10	1		2		13
	2 薬剤師	3					3
	3 診療放射線技師	2					2
	4 臨床検査技師	3					3
	5 臨床工学技士	7	2				9
	6 管理栄養士	2					2
	7 理学療法士	1					1
	8 社会福祉士	2					2
	9 看護師	43	14	3			60
	10 准看護師	7					7
	11 介護支援専門員			2			2
	12 介護福祉士	9		7			16
	13 作業療法士			1			1
	14 ケアスタッフ	13	2				15
	15 技師助手						0
	16 医療事務	9	2		3		14
	17 一般事務		1	1	11	3	16
	18 営業事務/営業員					5	5
	19 技術員	1					1
	20 運転手				7		7
	21 保安				2		2
	22 清掃員	6					6
	23 エステティシャン		2				2
	24 その他	1					1
計		119	24	14	25	8	190

②就業状況

	平均		男性		女性	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
勤続年数	7.2	7.3	7.3	7.8	7.1	7.1
平均年齢	42.1	42.5	45.5	46.4	40.6	41.1

退職率	平均		職員数		退職者数	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
全体	14.5%	7.9%	152	164	22	13
男性	8.7%	13.6%	46	44	4	6
女性	17.0%	5.8%	106	120	18	7

復職率	28年度	29年度
	0.00%	0.00%

※パートへの復職を含む（育休・介休などの休職後の復帰を含まず。）

有給取得率	28年度	29年度
	62.1%	72.9%

※（29年4月から30年3月までの総取得日数）÷（30年3月現在で直近に付与された日数の総計）



医療法人 腎愛会 平成 29 年度年報

発行月 平成 30 年 10 月

発行者 医療法人腎愛会 法人本部